

## 1. 地区概要

### (1) 地区の状況

当地区は、横浜市南区の北端で、京浜急行本線黄金町から北西に 1,000m圏内、同南太田駅から北東に 800m圏内にある下末吉台地上の位置している。

黄金町駅近傍の標高は 7 m に対し、地区内のもっとも高い標高点は 54m を示し、4 箇所急傾斜地崩壊危険区域のほか、土砂災害警戒区域や宅地造成工事規制区域を抱えている。また、道路については、屈折した狭あい道路が総延長距離の 52.8% を占めている上、階段により車両が通行できない道路も多く見られ、災害時の円滑な消防活動及び避難の妨げとなっている。

### (2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

## 2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

⑧三春台地区

图-1 位置图

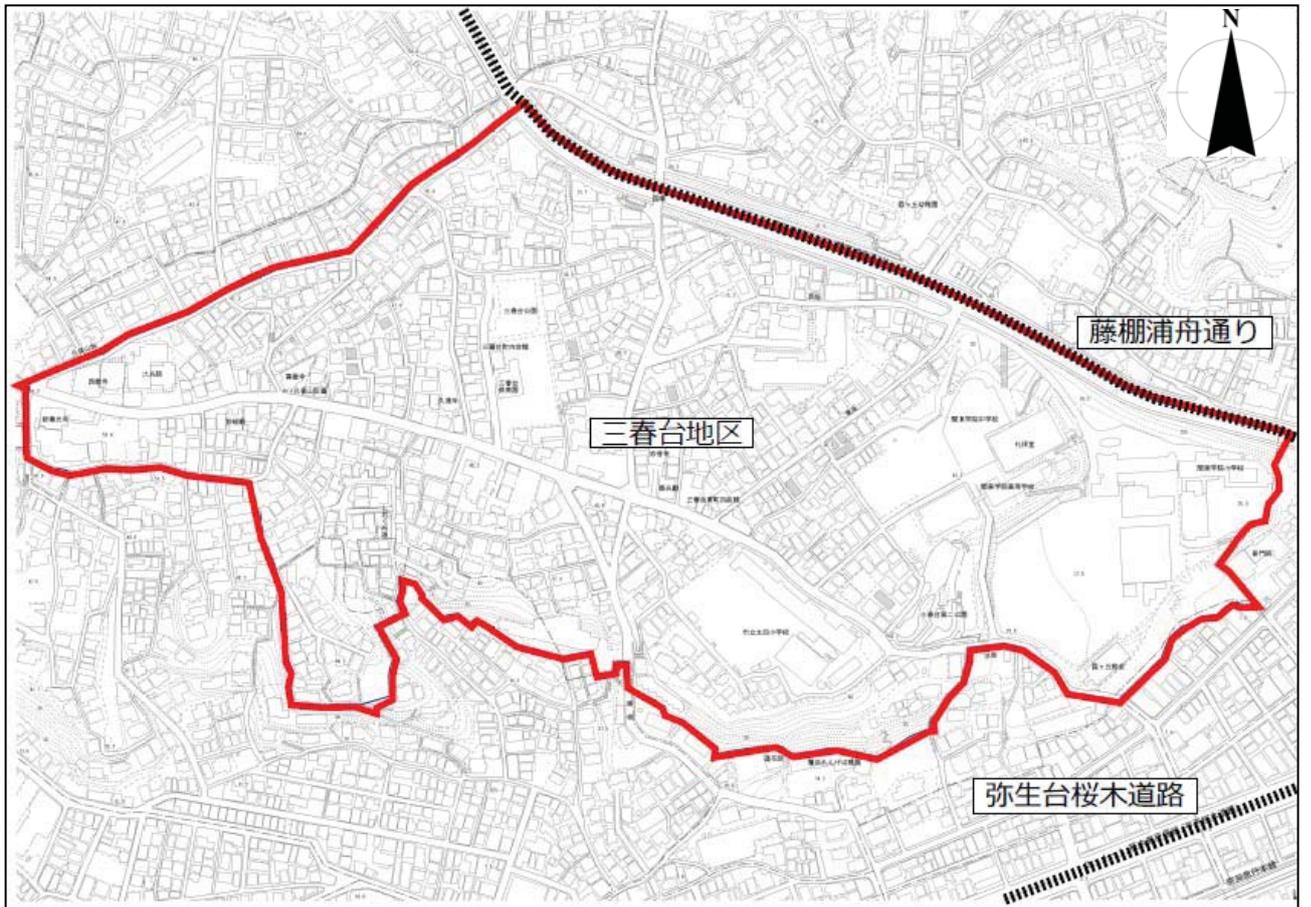
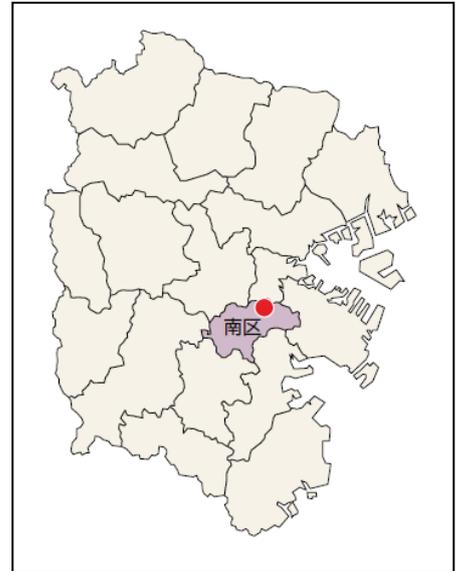


图-2 区域图

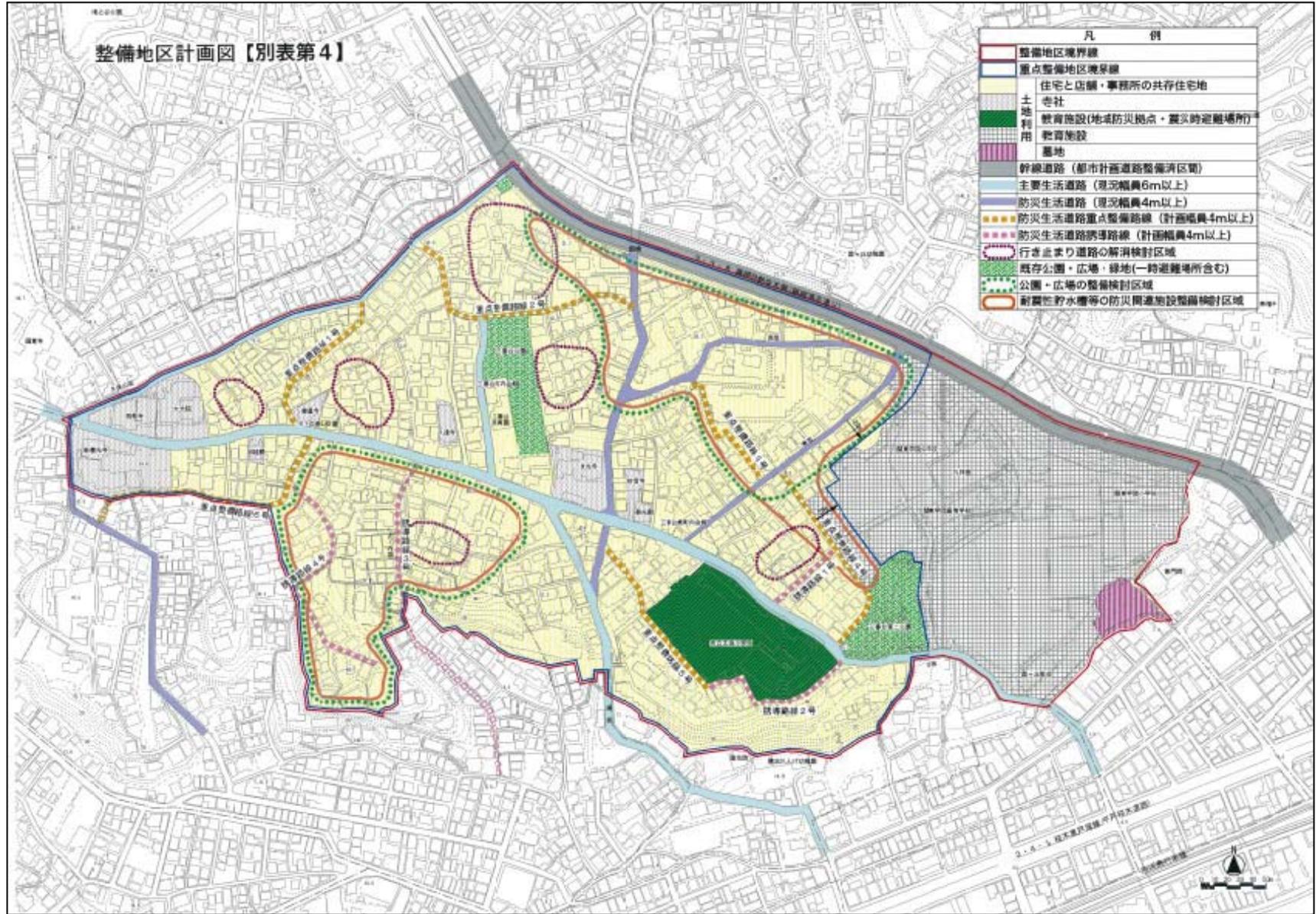


図-3 整備計画図

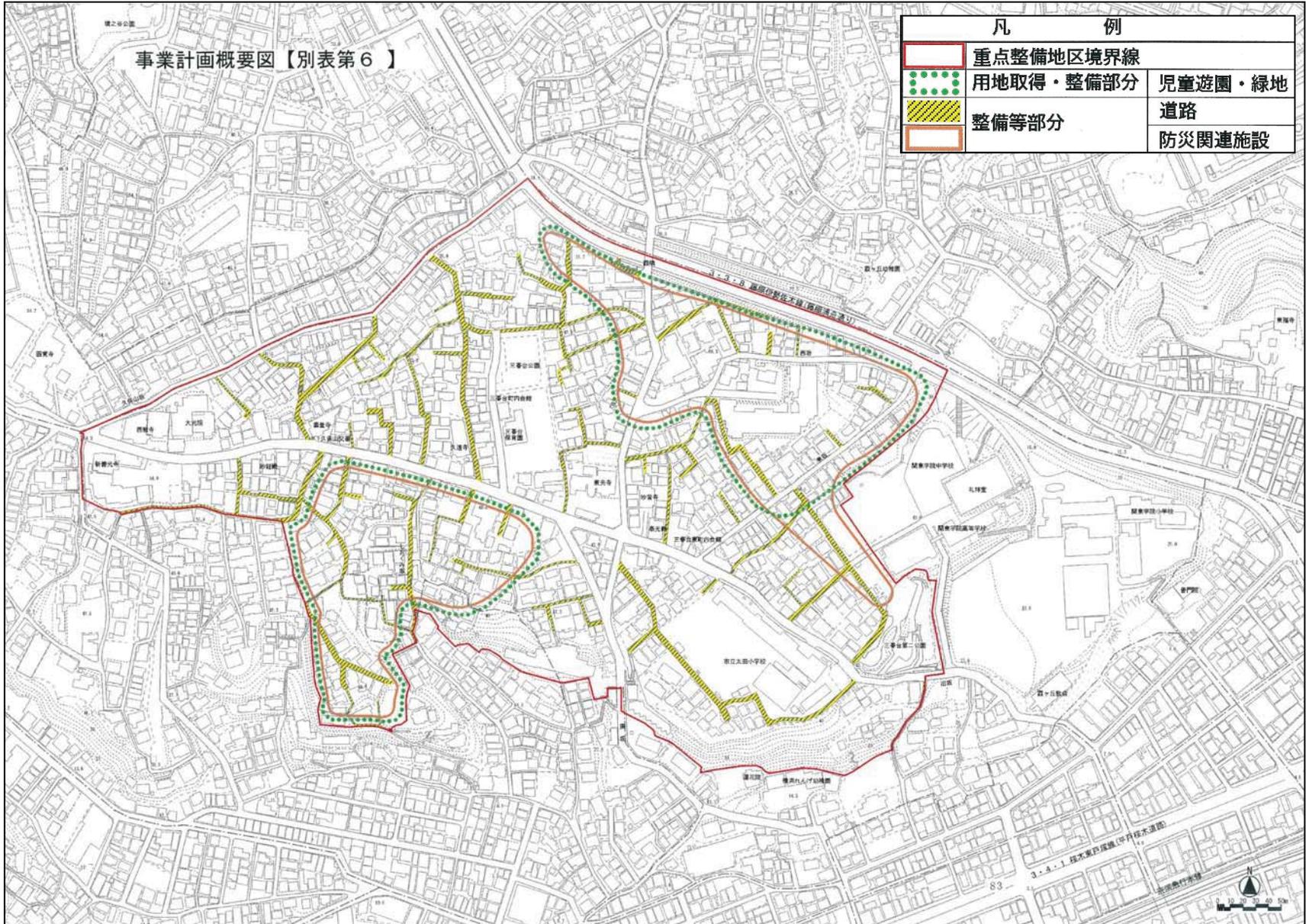


図-4 事業計画概要図

### 3. 協議会の活動状況

#### (1) 地元諸元

協議会名	三春の丘まちづくり協議会
協議会エリア面積	22.7ha

#### (2) 地元諸元

平成 16 年 7 月	勉強会の開始
平成 16 年 10 月	まち歩きを実施
平成 20 年 11 月	「三春の丘まちづくり協議会」設立
平成 22 年 2 月	「防災まちづくり計画」の承認
平成 23 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 24 年度	狭あい道路拡幅整備工事の実施 (75.0m)
平成 25 年度	狭あい道路拡幅整備工事の実施 (39.4m)
平成 26 年度	狭あい道路拡幅整備工事の実施 (13.0m)



協議会



防災イベント

## 4. 事業の執行状況

### (1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、事業費ベースで6.6%となっている。進捗状況は以下のとおりである。

#### ① 道路整備

整備計画における計画延長 857mに対して、一部の狭あい道路拡幅延長 127.4mにとどまっている。進捗率は7.5%である。

#### ② 老朽建築物等除却

5棟の建築物除却を行った。老朽建築物等除却の進捗率は100%である。

### (2) 実績状況写真



道路整備

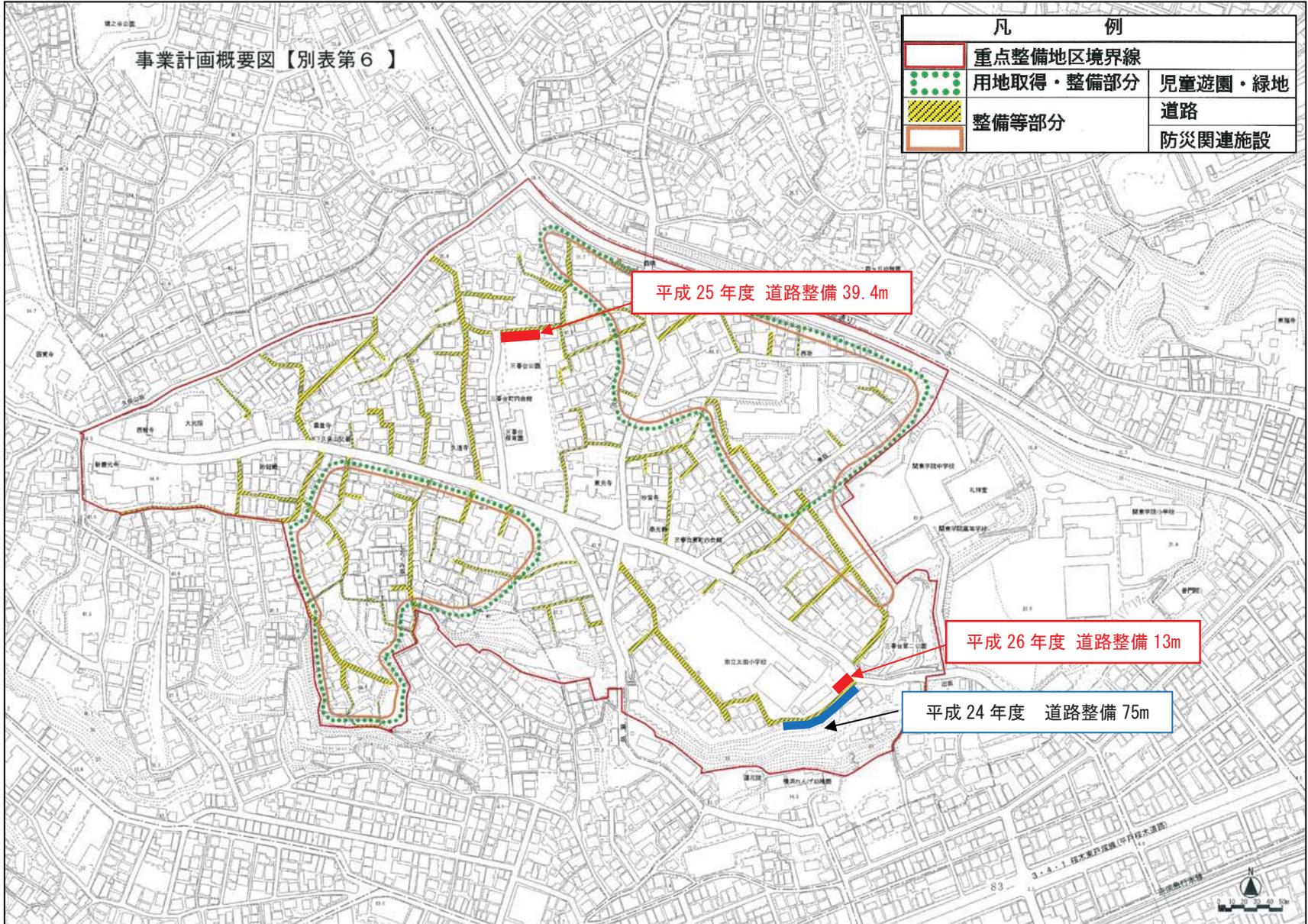
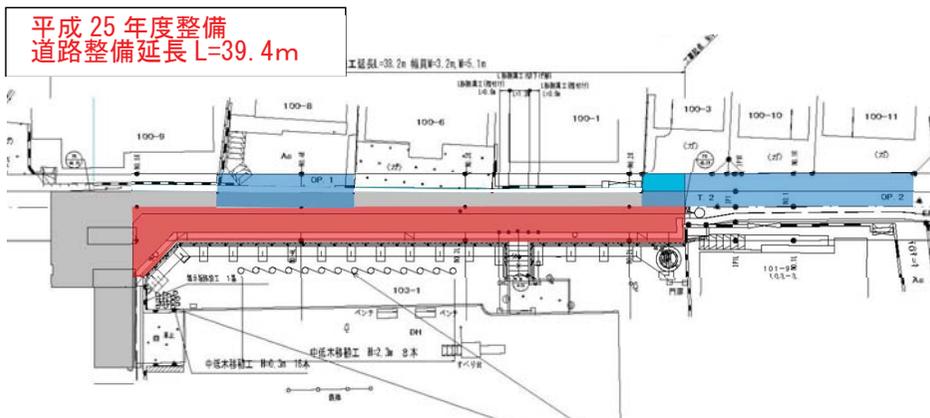
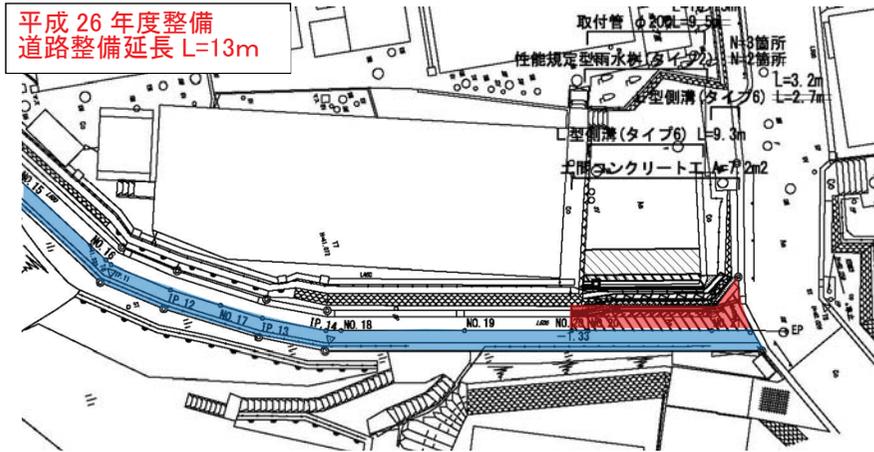
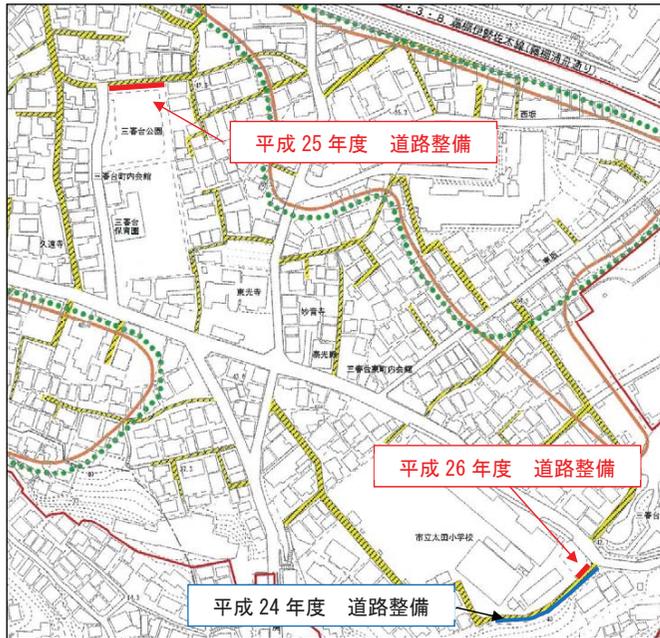


図-5 事業実績図

⑧：三春台地区



凡例

	H25、26年度整備
	後退済み

考察

- ・平成25年度は、三春台公園側を39.4m道路の拡幅整備を行った。この整備により、直行する幅員のある道路から緊急車両等の進入が容易となり、消防活動を行う空間が生まれ防災性が向上した。
- ・平成26年度は、平成24年度整備の反対側の道路でかつ交差点を拡幅整備したことに伴い、緊急車両等の進入が容易となり、消防活動を行う空間が生まれ地域の防災性が向上した。



## 1. 地区概要

### (1) 地区の状況

当地区は、横浜市を中心地である関内から南西約1～2kmに位置し、横浜市営地下鉄阪東橋駅から徒歩15分程の圏域にある、都心部に隣接した交通利便性の高い地区である。地区の大半が丘陵地であり、基盤整備が整わないままスプロールが進展したため、地区内の道路のほとんどは狭あい道路で構成されている。このため、地区内の主要な道路について拡幅整備を行うとともに、オープンスペースの確保や住民による初期消火が可能となる消火栓ネットワークを整備することで、安全で快適なまちづくりを目指していく。

### (2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

## 2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。



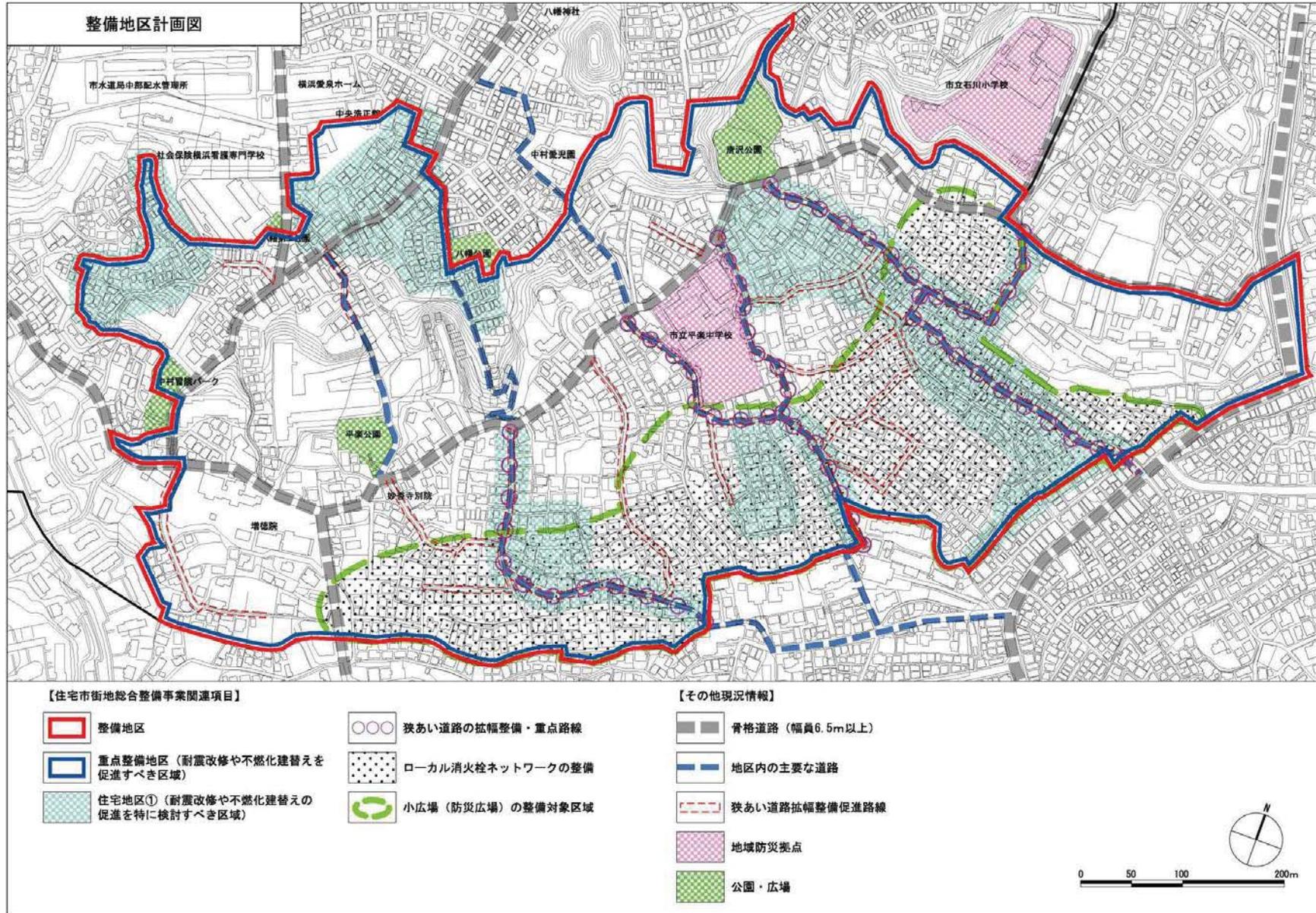


図 - 3 整備計画図

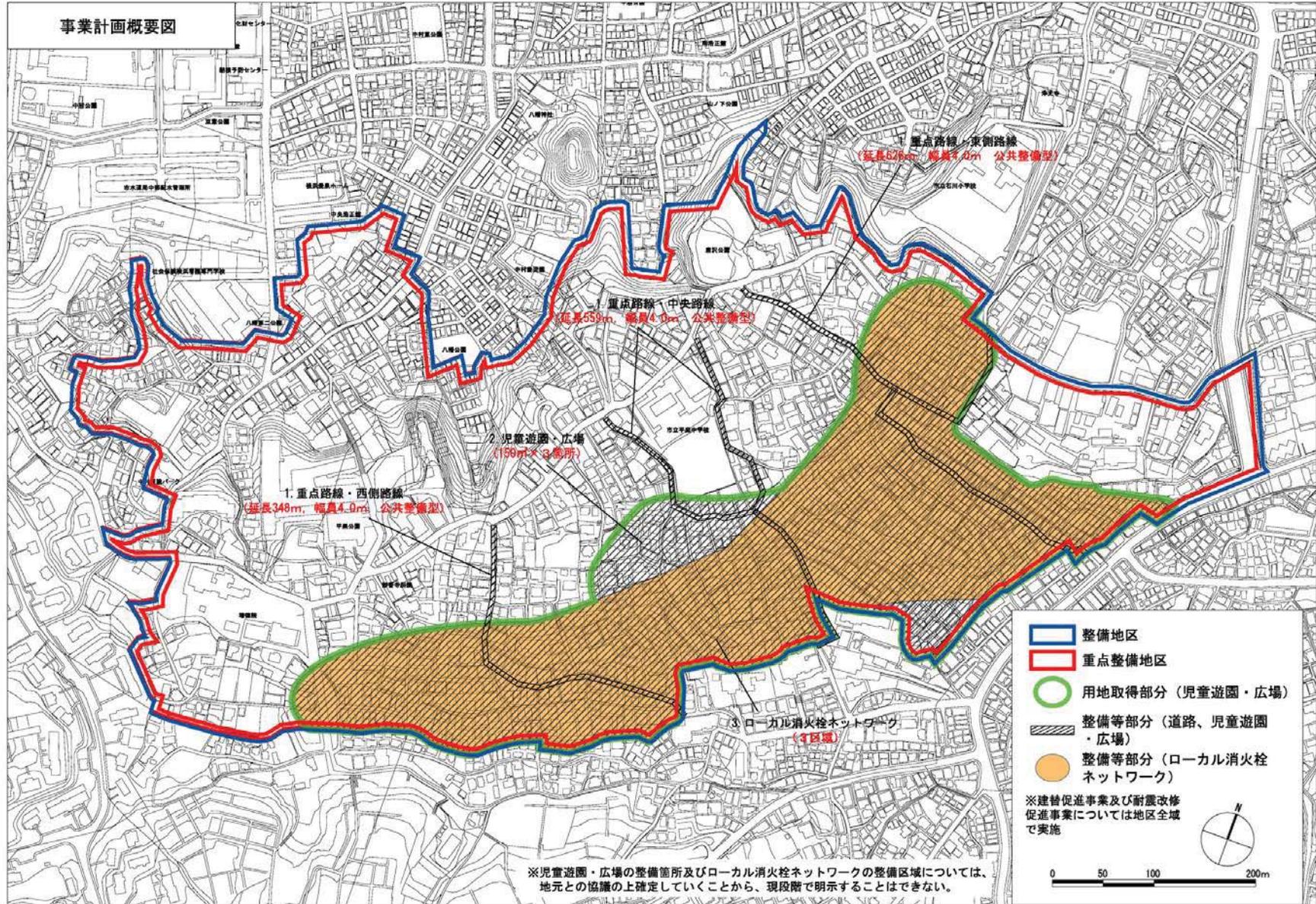


図-4 事業計画概要図

### 3. 協議会の活動状況

#### (1) 地元諸元

協議会名	唐沢・平楽・八幡町地区防災まちづくり協議会
協議会エリア面積	40.23ha

#### (2) 地元経緯

平成15年度	勉強会スタート、協議会設立（第1回協議会を開催）、 防災まちづくり計画の地元承認
平成16年度	住宅市街地総合整備事業着手
平成17年度	測量説明会を開催、 小広場用地の候補地募集チラシを配布
平成18年度	狭あい道路拡幅整備工事の実施、 小広場用地を取得、小広場整備説明会を開催
平成18～19年度	小広場分科会を開催（計4回）
平成19年度 ～24年度	狭あい道路拡幅整備工事を実施
平成27年度	狭あい道路拡幅整備工事を実施



協議会

## 4. 事業の執行状況

### (1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は17.7%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

#### ① 道路整備

整備計画における計画面積1,533m<sup>2</sup>に対して、一部の狭あい道路拡幅延長515mにとどまり、現在のところ整備計画の目標を下回っている。進捗率は35.3%である。

#### ② 公園・緑地・広場整備

公園・広場については、整備計画における計画面積450m<sup>2</sup>に対して整備面積108m<sup>2</sup>であり、箇所数3箇所のうち1箇所整備済みである。進捗率は24%である。

#### ③ 防災関連施設

小広場の整備に合わせ、防火水槽の設置を行った。進捗率は、事業費ベースで5.8%である。

#### ④ 老朽建築物等除却

5棟の建物除却を行った。進捗率は、老朽建築物除却の事業費ベースで9.2%である。

### (2) 実績状況写真(平成27年度整備)

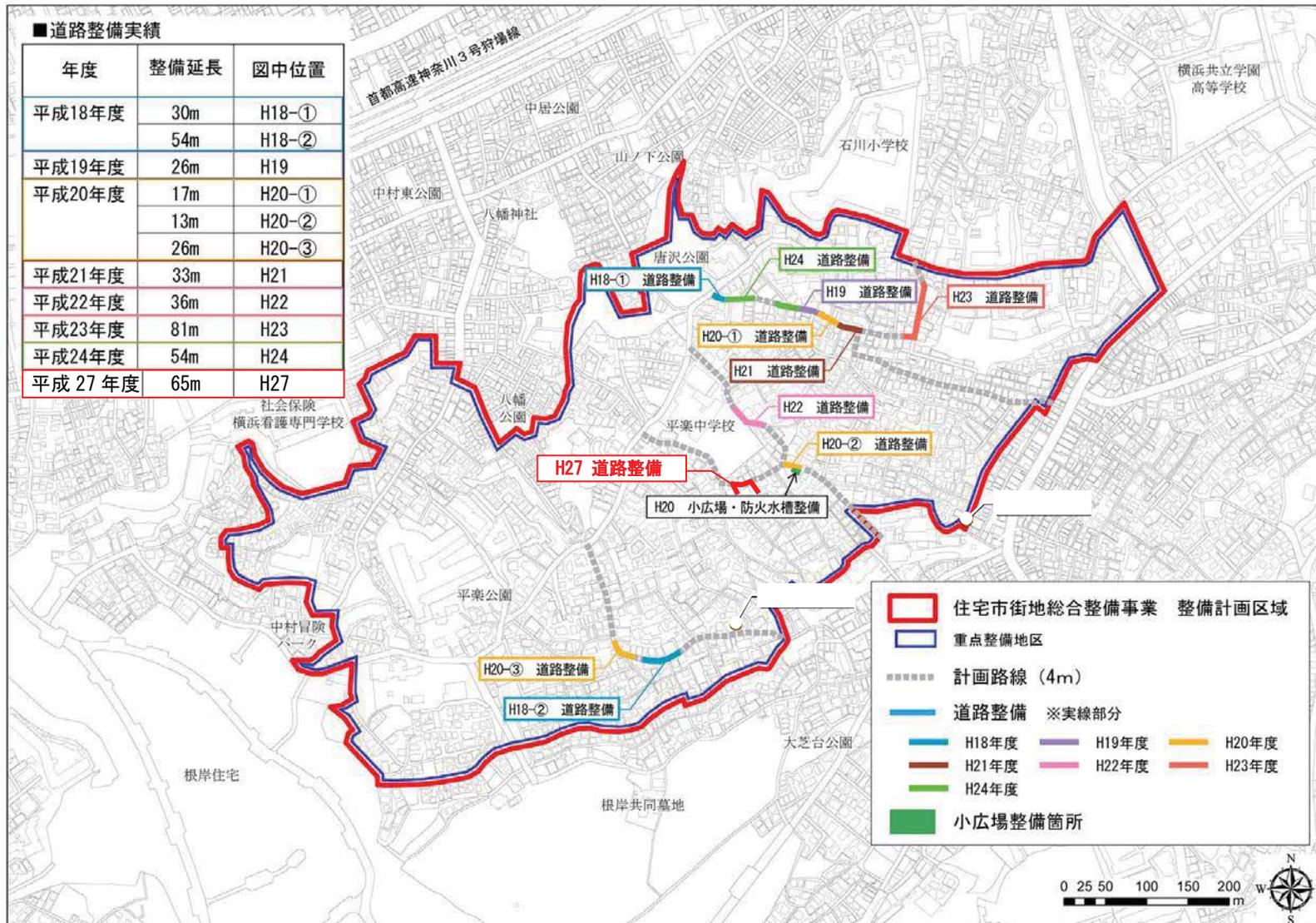


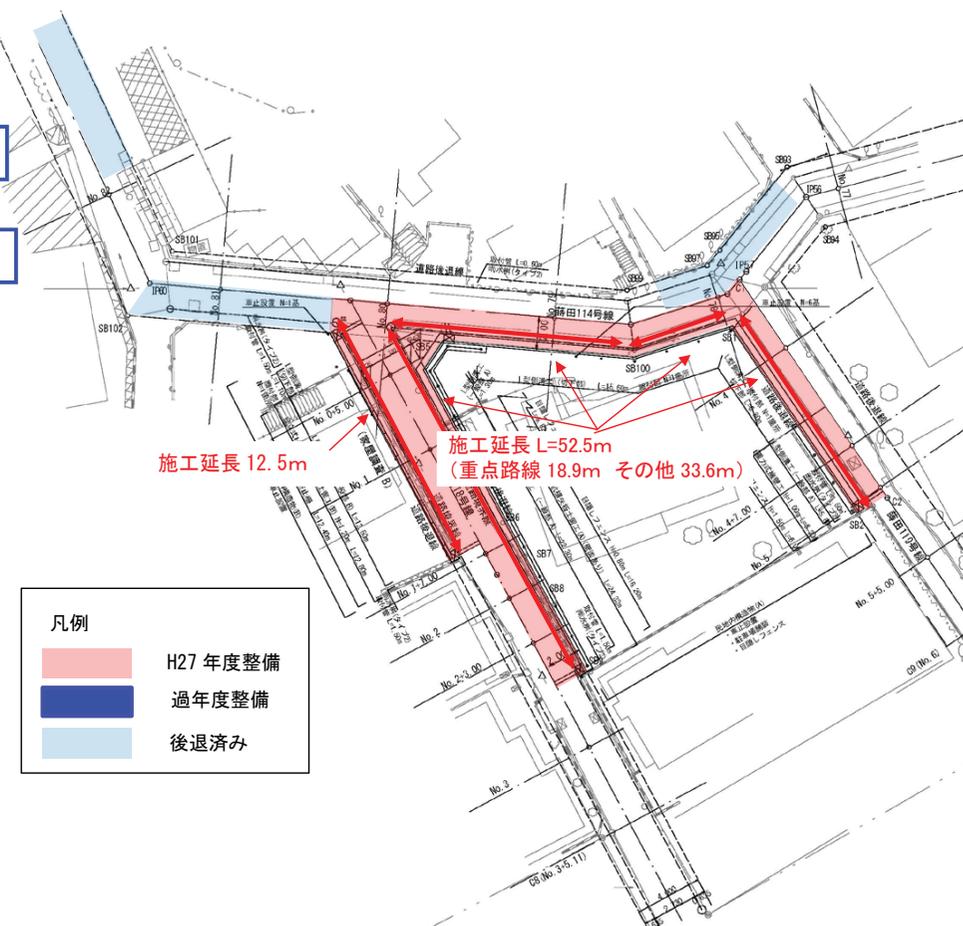
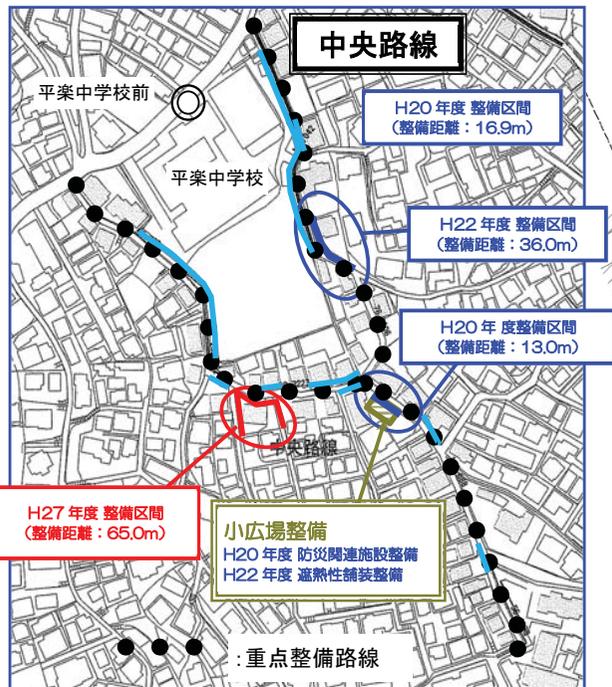
整備前



整備後

(3) 事業実績図





凡例

	H27 年度整備
	過年度整備
	後退済み



整備後



整備前

考察

- ・ 地区内に位置付けられている3つの整備重点路線のうちの中央路線において20.2mの区間及びそれに取り付く道路において53.1mの区間で狭い道路の拡幅をした。
- ・ 拡幅整備前の幅員は約2.0~2.8mであったが、拡幅後の幅員は3.0~4.0mとなり、鋭角な交差点において隅切りを設けることで、消防活動を行う空間が生まれ防災性が向上するとともに、見通しが大幅に改善され平常時の安全性も高まった。
- ・ 後退前にあった危険ブロック塀は拡幅整備に伴い撤去され、新たに軽量フェンスで整備を行ったため、災害時の危険性が低くなった。
- ・ 当該整備部分に至るまでの道路については、未拡幅部分もあり今後も事業の継続が求められるが、重点路線において着実に拡幅が進んでいる。

整備後

## 1. 地区概要

### (1) 地区の状況

当地区は、横浜市磯子区の北部、J R根岸線の根岸駅から約800m、同磯子駅からは約1.2kmに位置し、東側は国道16号と堀割川に、南側は国道16号に接し、その先は埋立地となり大規模商業施設や公共公益施設、工場などが立地している。

戦中に行われた強制疎開により、東西、南北方向に2本の疎開道路が整備され、その後大きな戦災にはあわなかった。戦後は当地区に隣接して市電の車庫があり、市電の拠点となったが、JR根岸線の開通と共に市電が廃止され、根岸駅と磯子駅の中間に位置する当地区は、大きな開発圧力がかかることもなく、現在に至っている。

そのため、骨格となる道路以外の拡幅が進まず、老朽家屋の建て替えがなされないため、未整備の狭隘道路が多く残されており、災害時の避難通路の確保などが課題となっている。災害に強く安全なまちにするとともに、下町情緒の残るまちの良さを生かし、安心して住み続けられる住環境を作ること目標にしている。

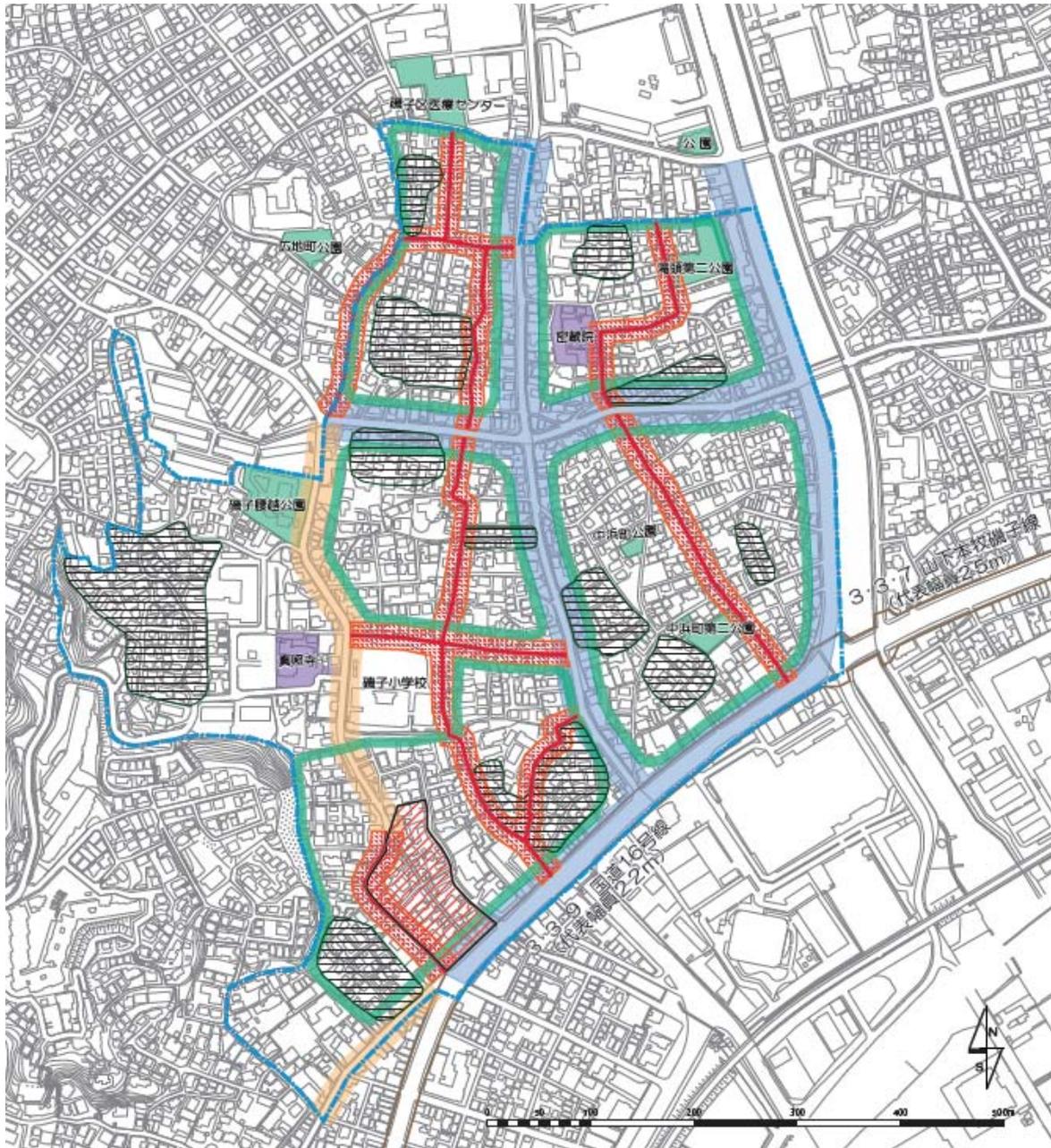
### (2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

## 2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

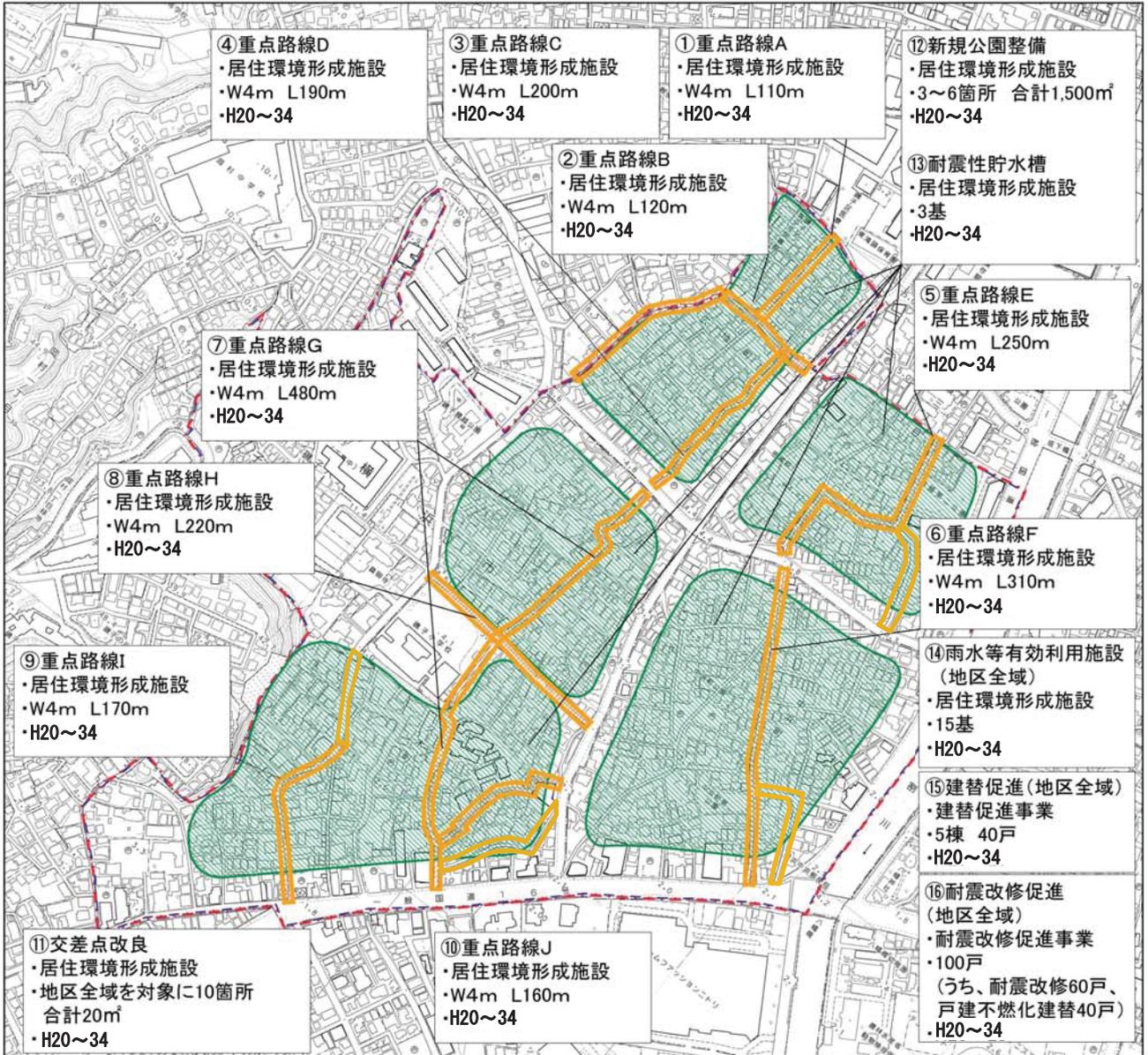




【凡 例】

- |  |   |   |
|--|---|---|
|  重点整備区域   |  重点防災性向上促進ゾーン    |  幹線道路沿道街並み形成ゾーン<br>(幅員12~25m) |
|  重点路線   |  にぎわいのある街並み形成ゾーン |  生活道路沿道街並み形成ゾーン<br>(幅員7~11m)  |
|  都市計画道路<br>(代表幅員22~25m)                           |  公園(現況)          |  生活道路沿道街並み形成ゾーン<br>(幅員4m)     |
|  小広場・公園・耐震性貯水槽<br>の整備を行うゾーン<br>(合計1,500㎡ 3~6箇所程度) |  寺 社             | ※建て替え促進事業 約45棟(約80戸)  |

図 - 3 整備計画図



- 凡例**
- 用地取得部分**
- 都市再生住宅建設用地として国庫補助を受けるもの
  - その他土地整備費のうち、道路として国庫補助を受けるもの
  - その他土地整備のうち、児童遊園・緑地として国庫補助を受けるもの
  - その他土地整備のうち、上記以外で国庫補助を受けるもの
- 整備等部分**
- 都市再生住宅として国庫補助を受けるもの
  - 道路施設
  - 児童遊園・緑地
  - 上記以外で国庫補助を受ける施設
- 1/6,000
- 0m 100m
- 整備地区  
■ 重点整備地区

図 - 4 事業計画概要図

### 3. 協議会の活動状況

#### (1) 地元諸元

協議会名	滝頭・磯子まちづくり協議会
協議会エリア面積	38.9ha

#### (2) 地元経緯

平成 15 年 10 月	第 1 回勉強会の開催
平成 17 年 6 月	「滝頭・磯子まちづくり協議会」設立総会開催
平成 19 年 6 月	定期総会にて防災まちづくり計画を承認
平成 19 年 10 月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
平成 20 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 21 年 9 月	「浜マーケット地区地域まちづくりルール」認定
平成 21～23 年	防災マップの作成（7 町内会全戸配布）
平成 24 年 3 月	「滝頭・磯子地区地域まちづくりルール」認定
平成 26 年 4 月	まちづくりプラン変更認定



協議会



まち歩き

## 4. 事業の執行状況

### (1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、事業費ベースで5.2%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

#### ① 道路整備

整備計画における計画延長2,215m(中心線)に対して、一部の狭あい道路拡幅整備延長1056.7m(片側)にとどまり、現在のところ整備計画の目標を下回っている。進捗率は、23.9%である。

#### ② 防災関連施設

小広場の整備に併せ、雨水タンク1基の設置を行った。進捗率は6.7%である。

#### ③ 建替促進助成

3棟の戸建住宅の建て替えを行った。進捗率は7.5%である。

#### ④ 老朽建築物除却

13棟の建物除却を行った。進捗率は100%である。

### (2) 実績状況写真

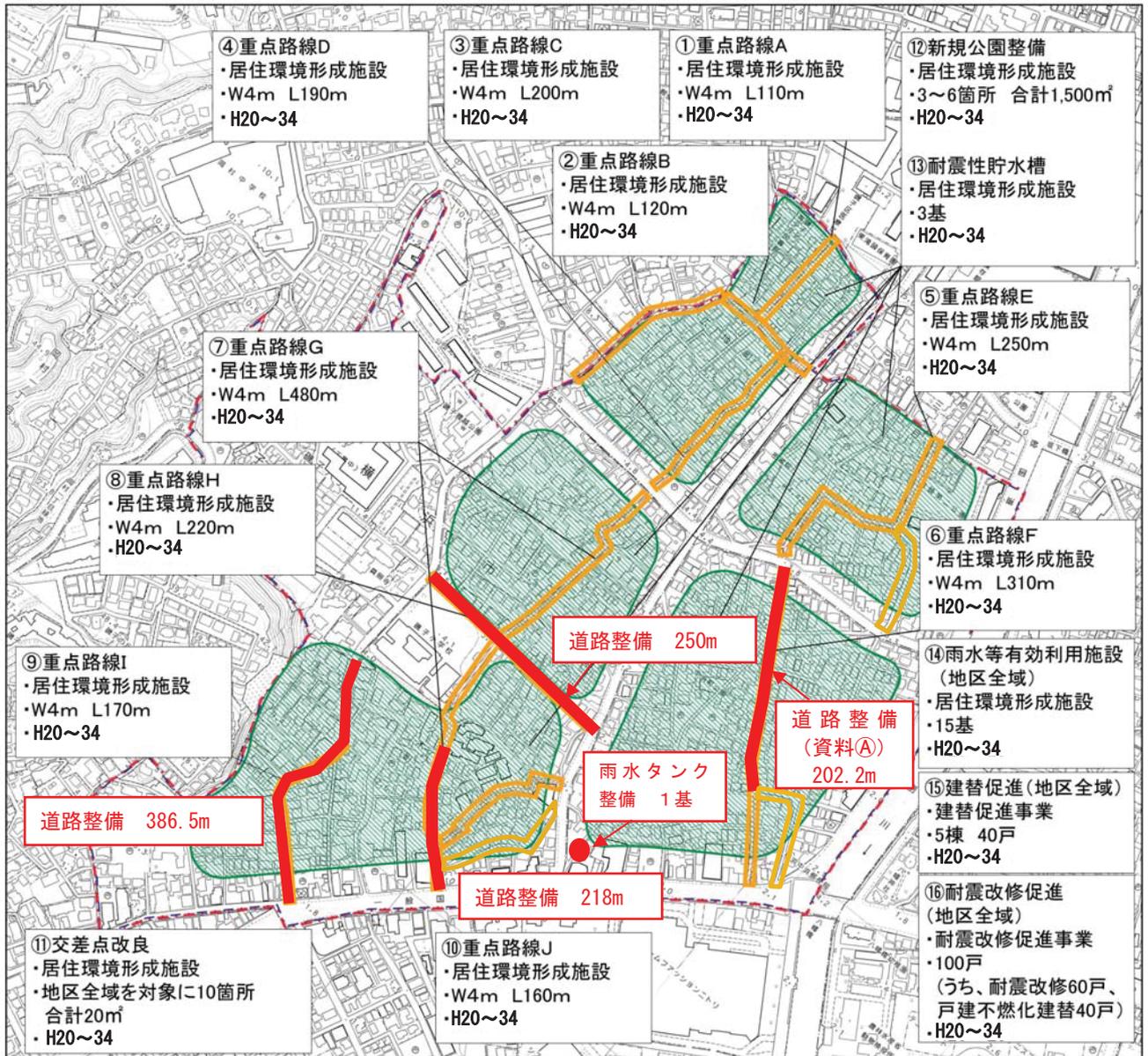


道路整備 拡幅 1056.7m



雨水タンク整備(300ℓ) 1箇所

(3) 事業実績図



凡例

用地取得部分

- 都市再生住宅建設用地として国庫補助を受けるもの
- その他土地整備費のうち、道路として国庫補助を受けるもの
- その他土地整備のうち、児童遊園・緑地として国庫補助を受けるもの
- その他土地整備のうち、上記以外で国庫補助を受けるもの

整備等部分

- 都市再生住宅として国庫補助を受けるもの
- 道路施設
- 児童遊園・緑地
- 上記以外で国庫補助を受ける施設

- 整備地区
- 重点整備地区

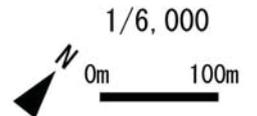
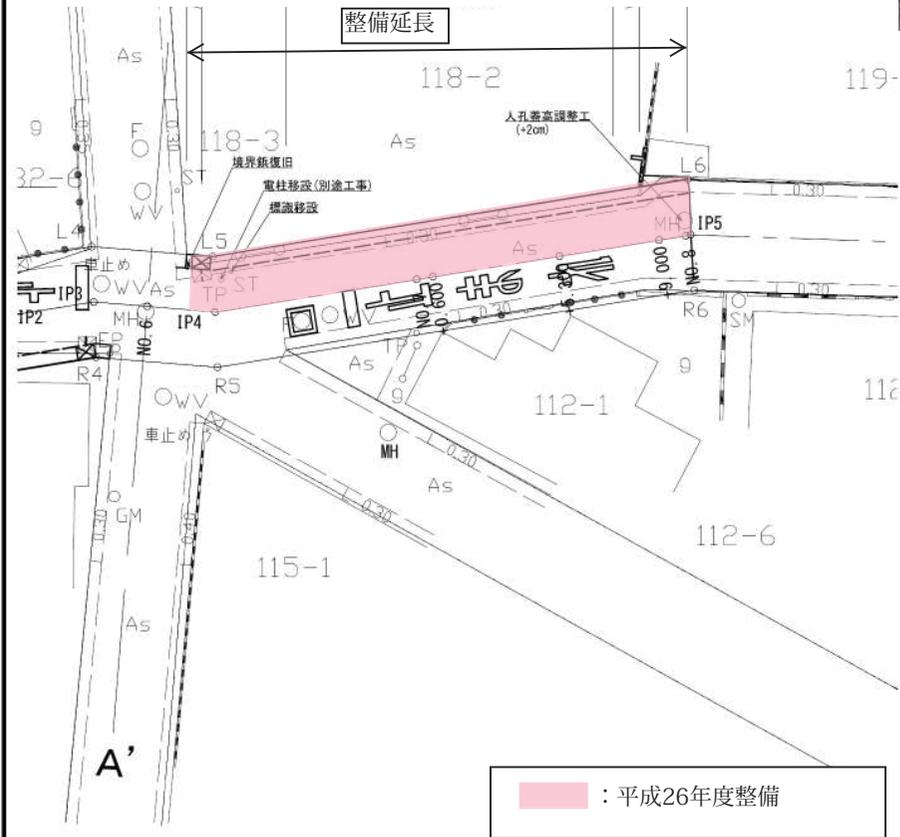
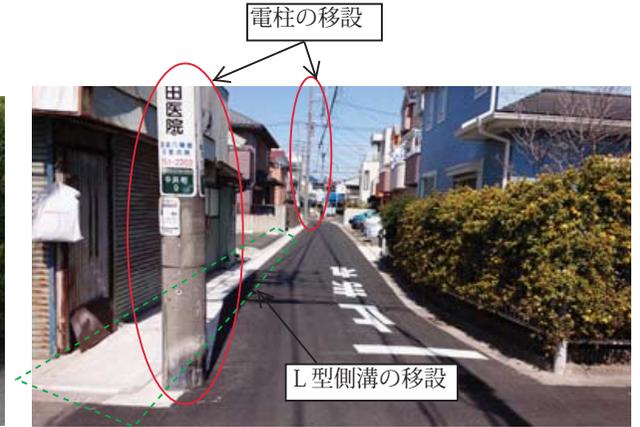


図-5 事業実績図





整備前



整備後

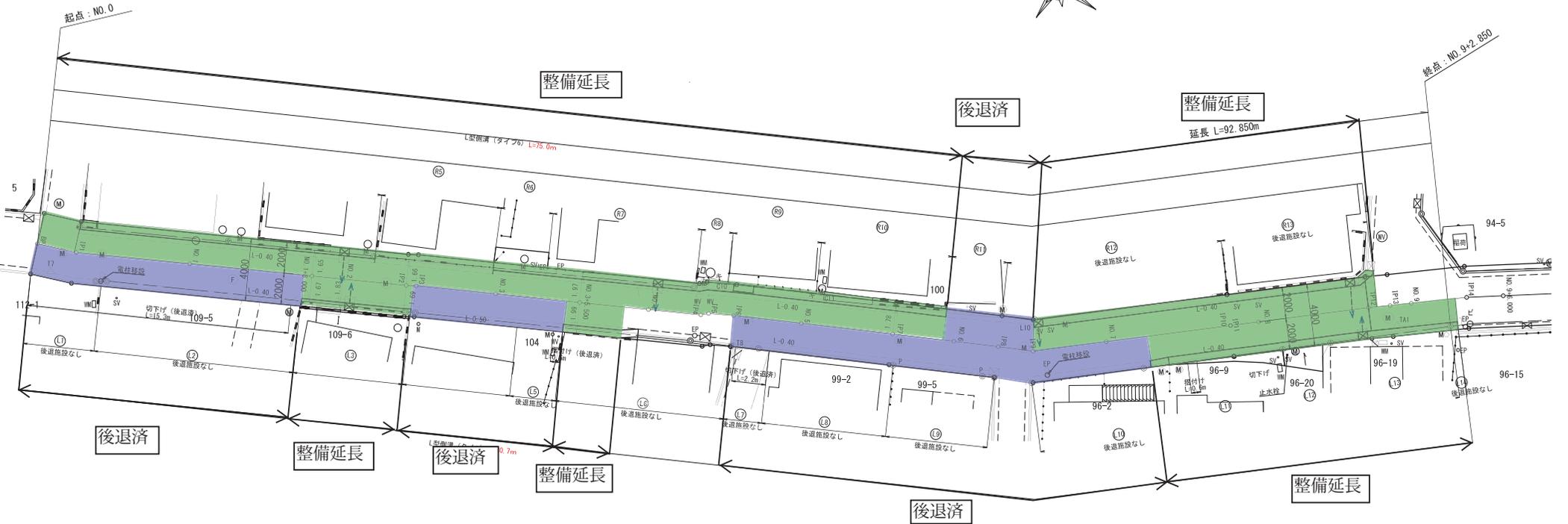


⑩滝頭・磯子地区 (資料A)

(狭あい道路拡幅整備)  
【中浜町図面③】

凡例

- : 平成29年度整備
- : 後退済

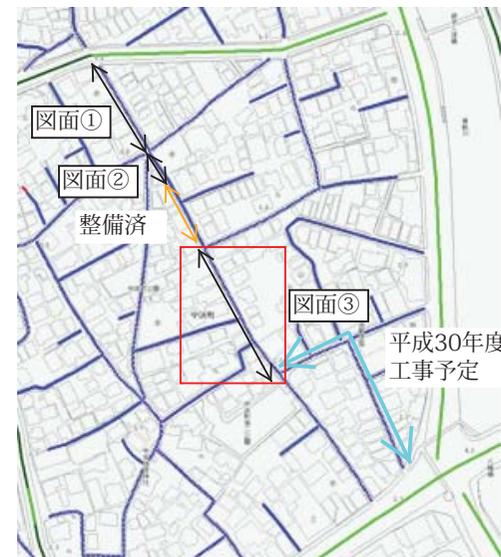


整備前



整備後

軽量フェンスに改善



## 1. 地区概要

### (1) 地区の状況

当地区は横浜市金沢区の中中部、国道16号・京浜急行の交通軸とシーサイドラインとの間に位置する地区である。地区内には称名寺や金沢文庫等の歴史的資産が立地し、歴史と伝統のある地区である。

当地区の土地利用は、住宅地が主であるが、地区北東部の称名寺を中心として、いくつかの寺院が点在している。また、旧国道16号沿道は店舗、中層マンションなどの立地が見られる。

道路については、旧国道16号・金沢歴史の道、称名寺赤門前の通り、通称赤門通りが骨格的な機能を果たしているが、それ以外の道路の多くは幅員4m未満の狭あい道路となっている。また、公園については、地区中央部に誘致圏に含まれない区域が存在するほか、既存の公園についても接道が不十分なものが見られる。

### (2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

## 2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

図-1 位置図

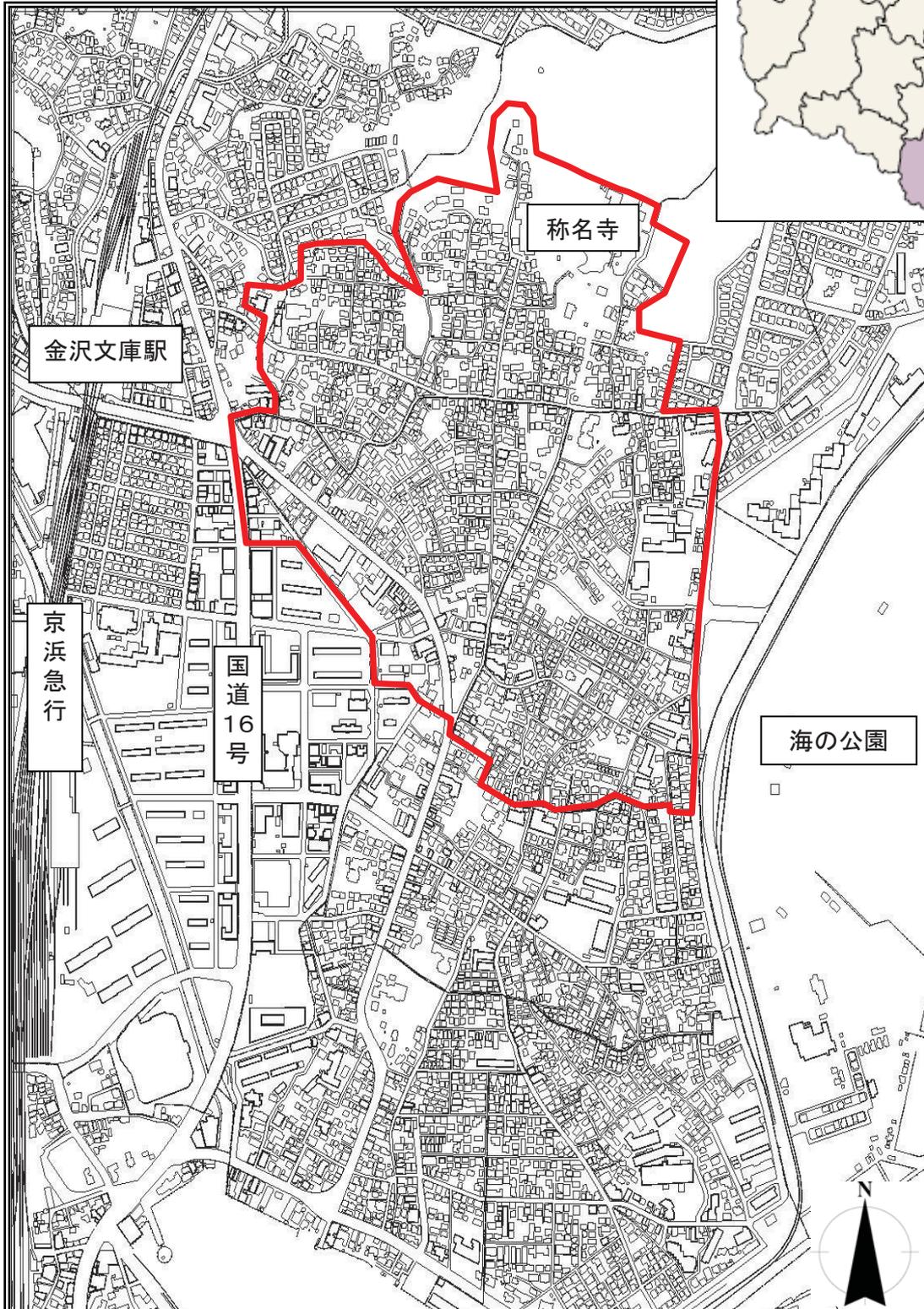
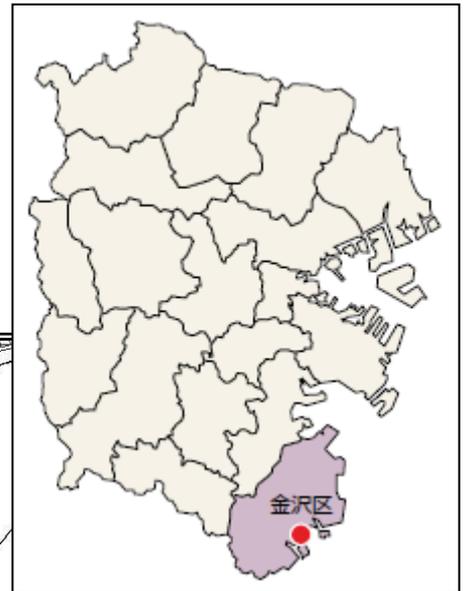


図-2 区域図

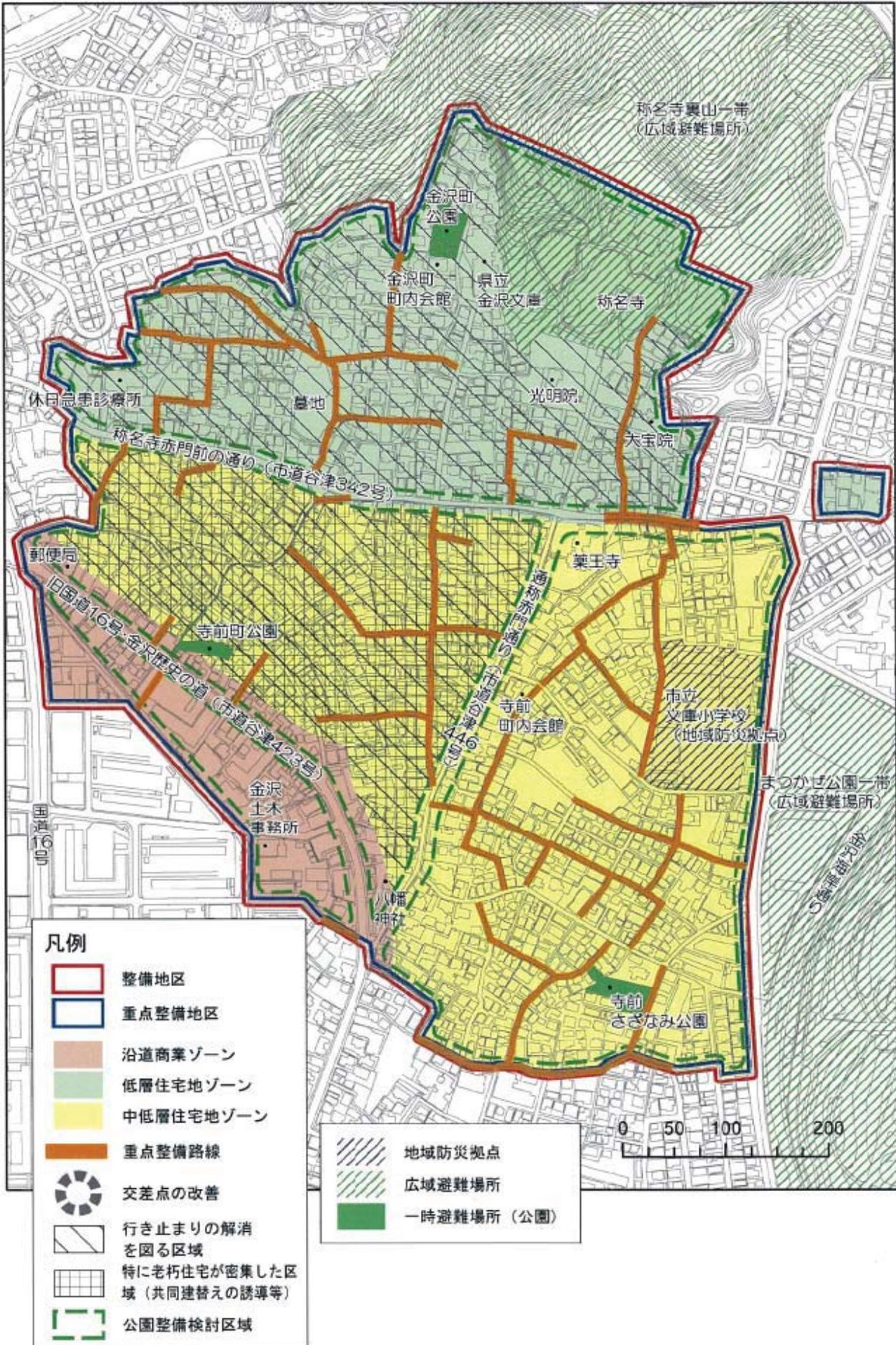


図-3 整備計画図

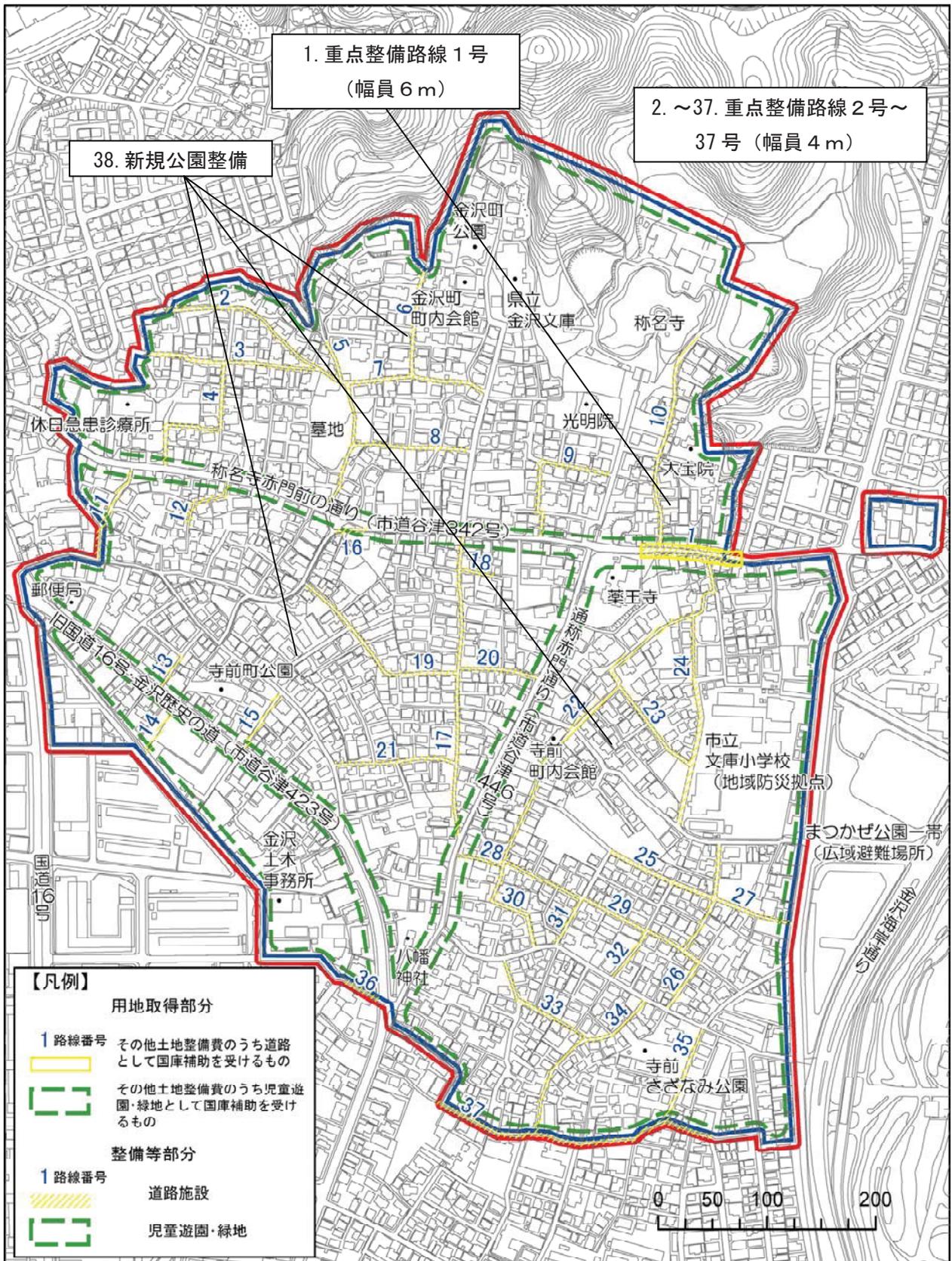


図-4 事業計画概要図

## 3. 協議会の活動状況

## (1) 地元諸元

協議会名	寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会
協議会エリア面積	47.6ha

## (2) 地元諸元

平成 15 年 10 月	第 1 回勉強会の開催
平成 20 年 8 月	「寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会」 設立総会開催
平成 22 年 7 月	定期総会にて防災まちづくり計画を承認
平成 22 年 11 月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
平成 23 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 24 年	「金沢南部地区防災マップ」策定（全戸配布）
平成 25 年 12 月	金沢八幡公園開園、空き家対策の検討、狭あい道路拡幅整備 箇所の検討
平成 26 年	広域避難場所（称名寺）への避難経路舗装の実施、金沢八幡 公園での防災イベントの実施、まち歩きの実施
平成 27 年	災害時行動指針の作製、防災倉庫の整備
平成 28 年	防災マップの更新
平成 29 年	狭あい道路拡幅整備に向けた検討、災害時緊急対応方策の検 討



## 4. 事業の執行状況

### (1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、事業費ベースで23.9%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

#### ① 道路整備

整備計画における計画延長4,558m(中心線)に対して、狭あい道路拡幅延長片側459m整備を行った。進捗率は5.0%である。

#### ② 公園・緑地・広場整備

公園・広場については、整備計画における計画面積1,300㎡に対して整備面積864.09㎡の整備済みである。進捗率は66.5%である。

#### ③ 防災関連施設

防火水槽2基の設置を行った。進捗率は66.7%である。

#### ④ 老朽建築物等除却

4棟の老朽建築物除却を行った。進捗率は40%である。

### (2) 実績状況写真



H25 防災広場整備 金沢八幡公園



H26 防火水槽整備 休日急患診療所



H28 狭あい道路拡幅整備 寺前二丁目



H29 狭あい道路拡幅整備 寺前一丁目

(3) 事業実績図

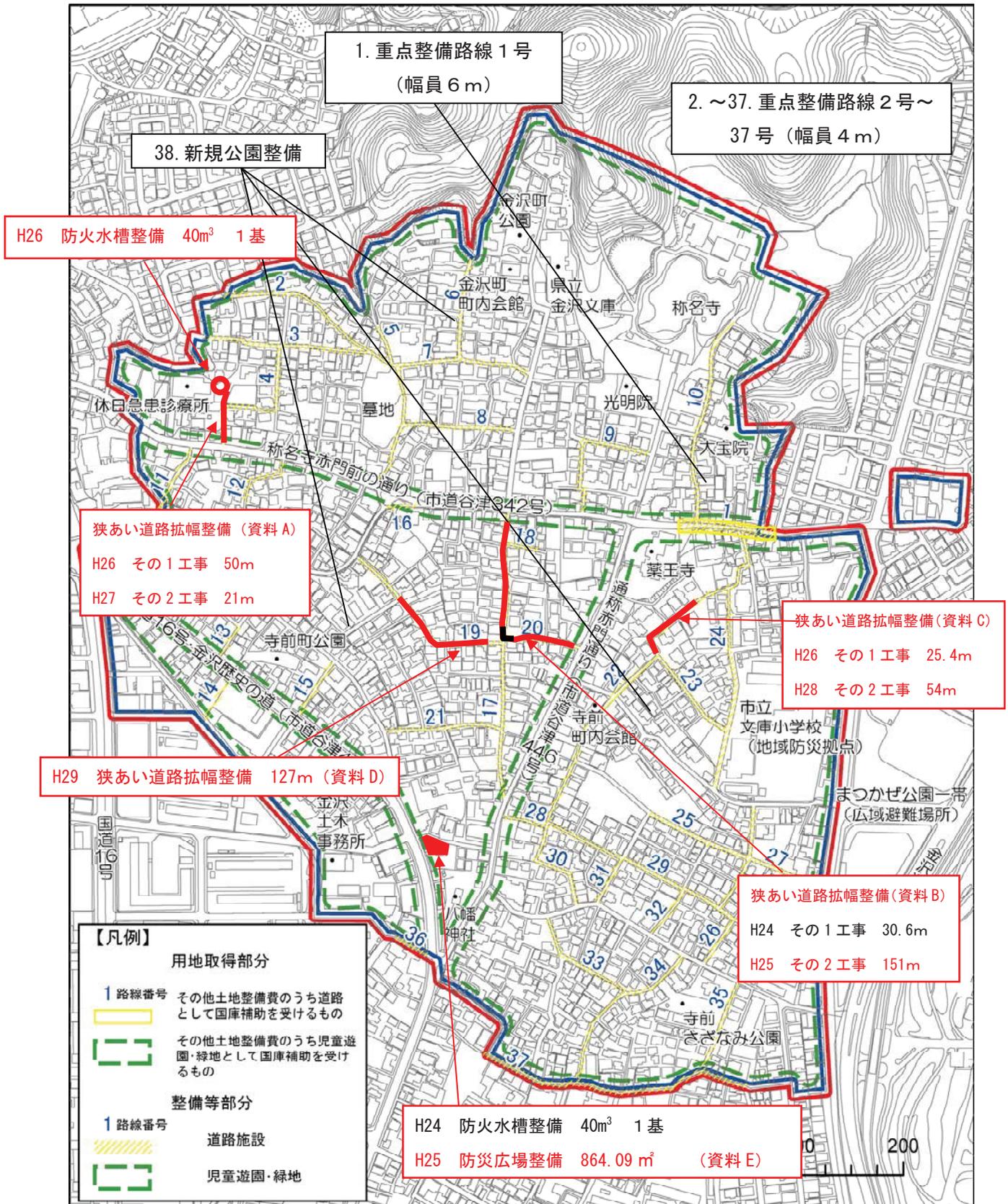
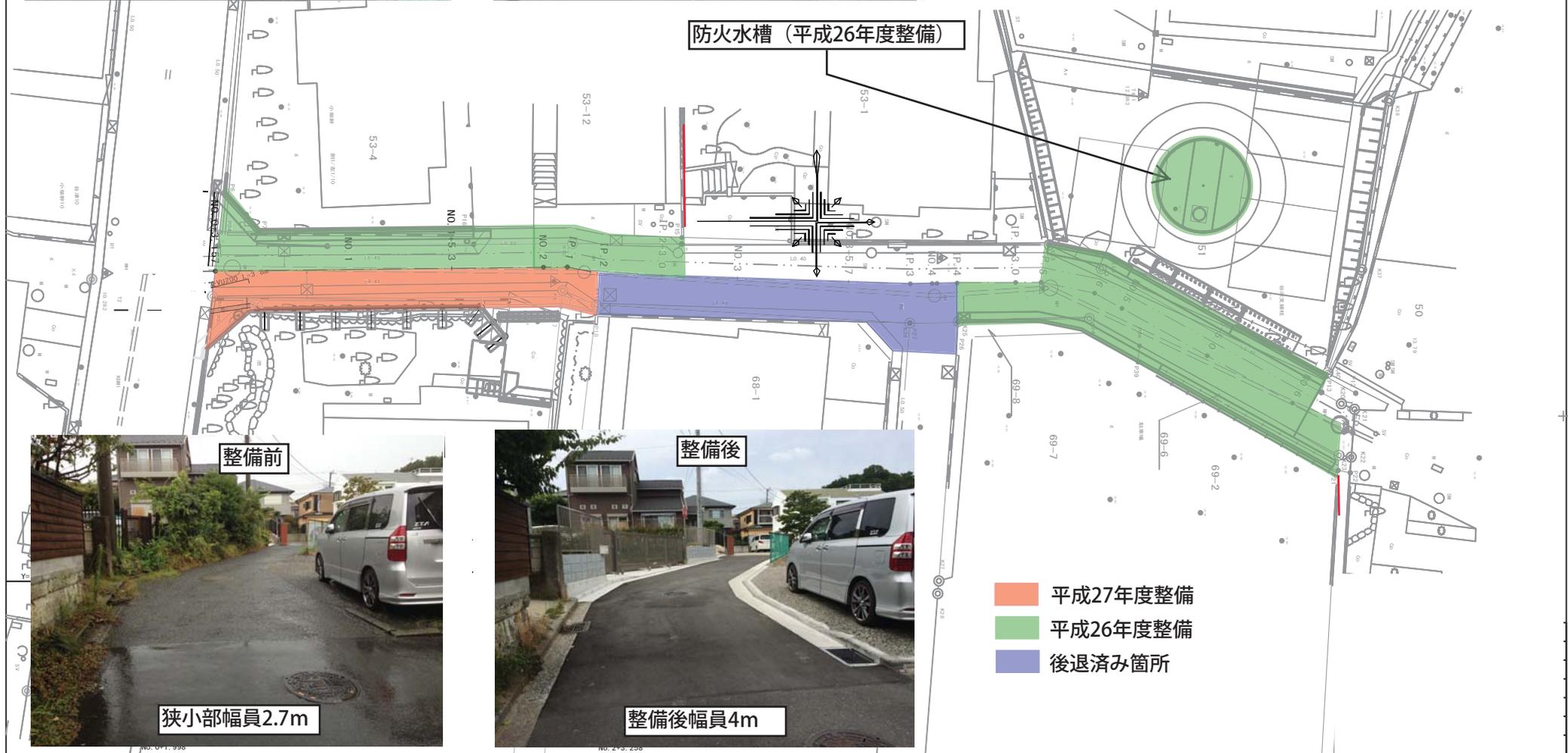


図-5 事業実績図



考察

- ・拡幅工事区間120mのうち、拡幅工事で71mの整備を行い、88mが拡幅済みとなっている。
- ・市有地に防火水槽を設置し、合わせて交差点から、防火水槽までの区間(約55m)を整備し、幅員3.8m~4.0mを確保した。
- ・消防車や緊急車両が進入口となり、防火水槽を利用して延焼防止が期待できる。
- ・コンクリートブロック塀から軽量のフェンスに築造替えることにより、災害時の安全性が向上した。
- ・入口両側に隅切りを設け、緊急車両が曲がりやすくなった。



①金沢南部地区 (資料D)

写真①

整備前



整備後

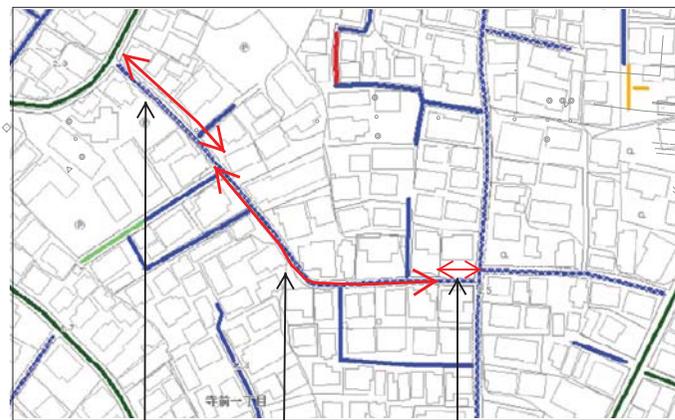


写真②

整備前



整備後



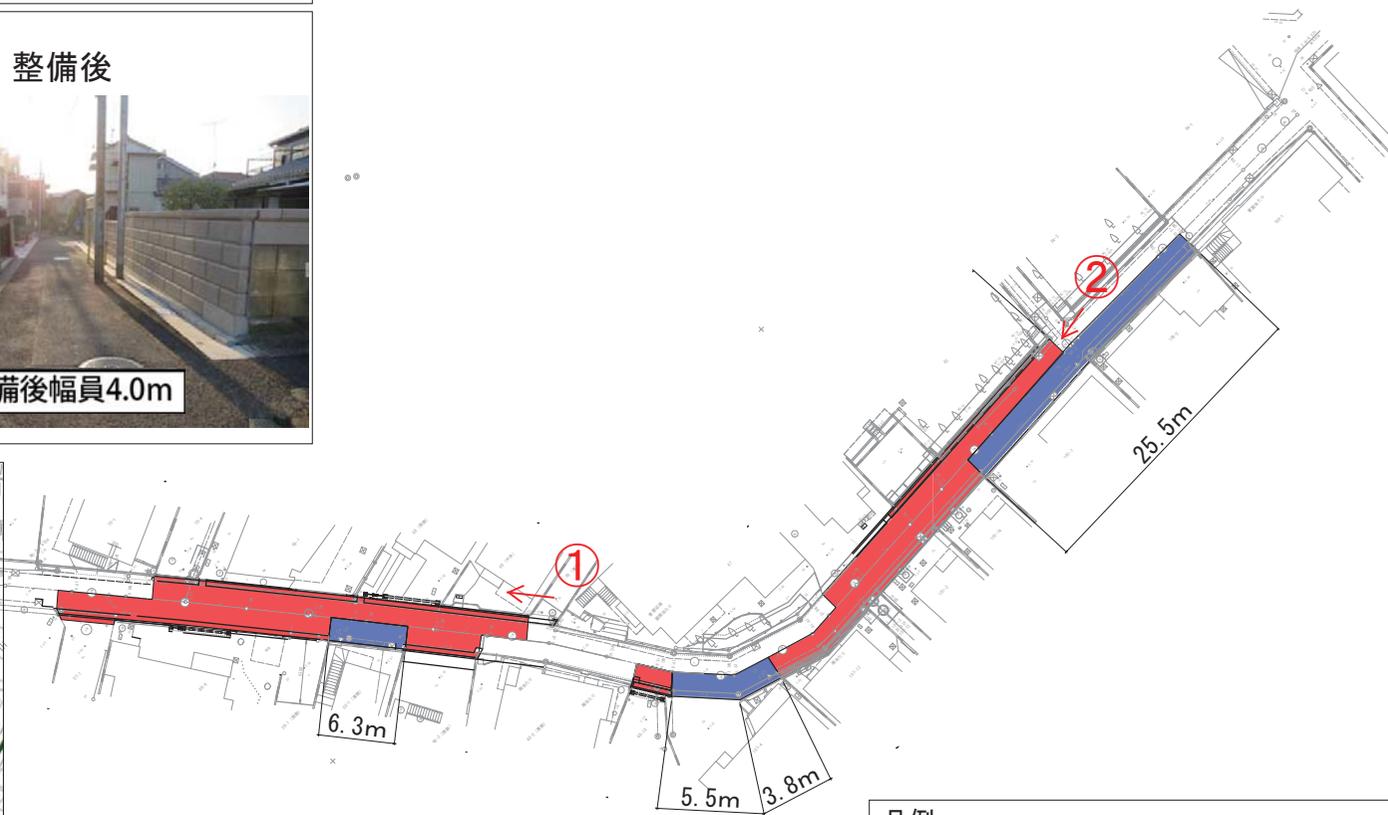
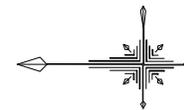
現況幅員3.6m~4.0mあり、  
緊急車両侵入可能

拡幅工事区間

現況幅員3.6m~4.0mあり、  
緊急車両侵入可能

考察

- ・ 拡幅工事区間210mのうち、拡幅工事で127mの整備を行い、168mが拡幅済みとなっている。
- ・ 狭あい道路の拡幅工事を行い、幅員3m~4mを確保した。
- ・ 緊急車両が通行できるようになり、地区の安全性が高まった。
- ・ 最小幅員1.8mの緊急車両の進入が不可能であった当該路線について、拡幅工事を行い、幅員3~4mを確保した。
- ・ 老朽化した塀等の築造替えを行い、災害時の安全性が高まった。



凡例

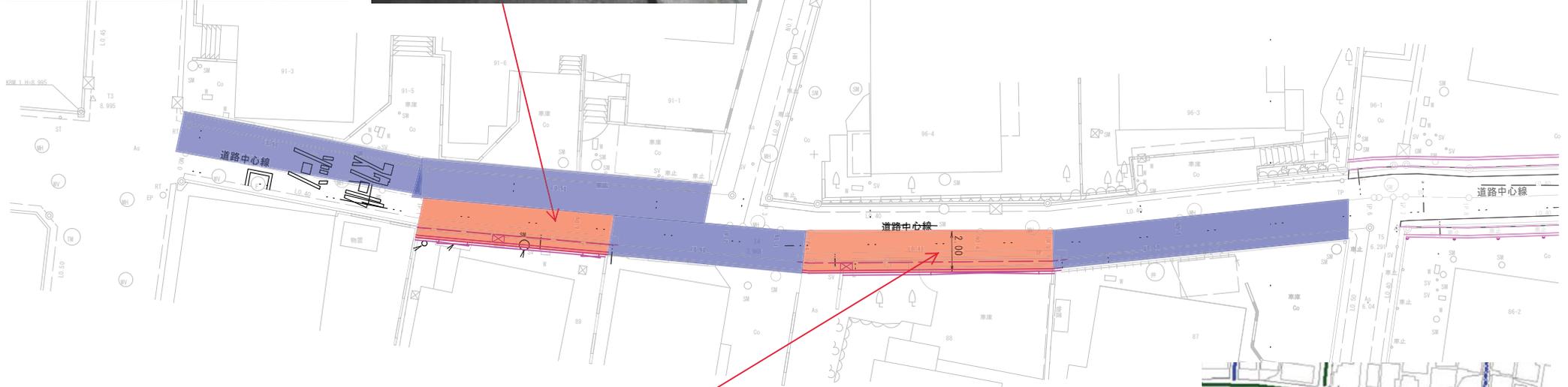
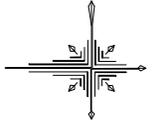
- 平成29年度整備
- 後退済み箇所

平面図

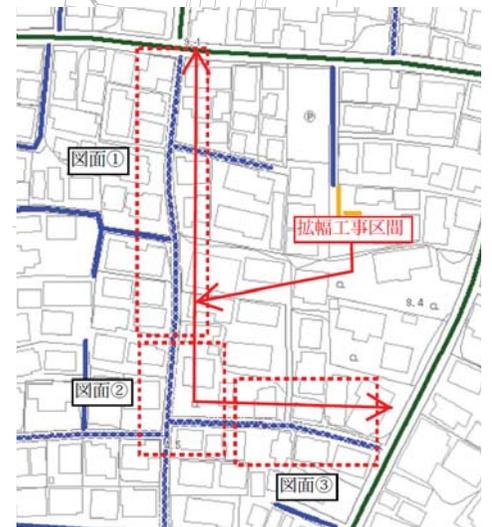
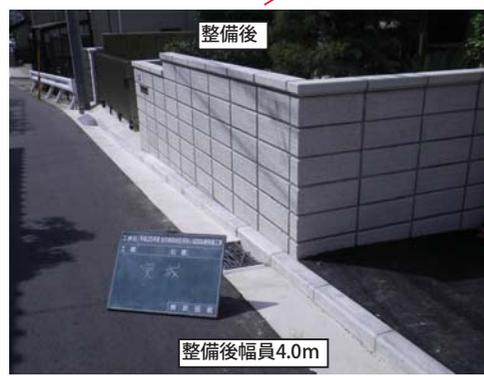


考察

- ・拡幅工事区間390mのうち、拡幅工事で151mの整備を行い、260mが拡幅済みとなっている。
- ・緊急車両が通行できるようになり、地区の安全性が高まった。
- ・合わせて、古い擁壁の築造替えも行い、災害時の安全性が高まった。
- ・曲がり角に隅切りを設け、緊急車両が曲がりやすくなった。

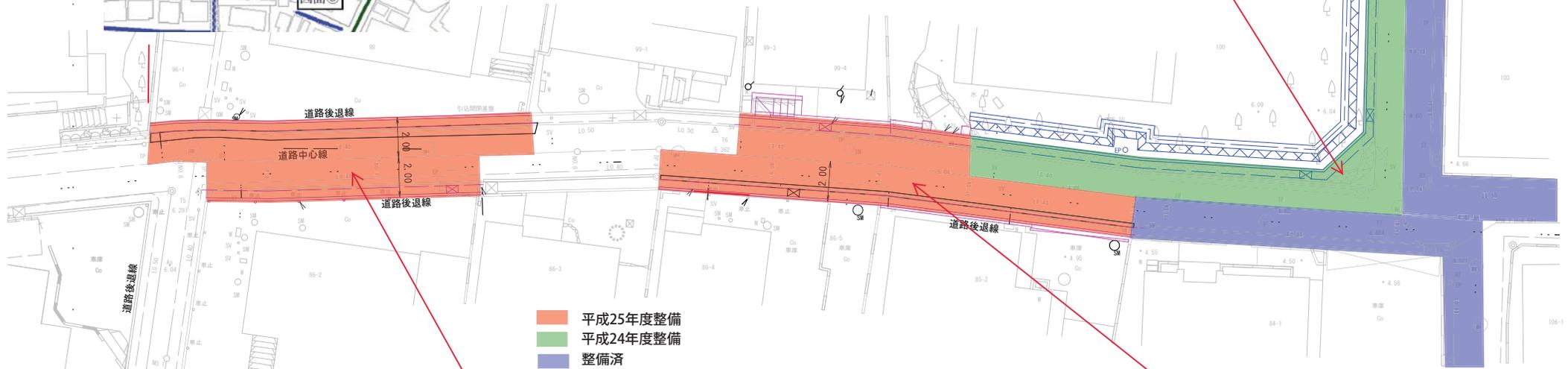
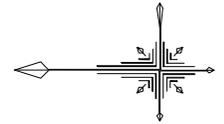
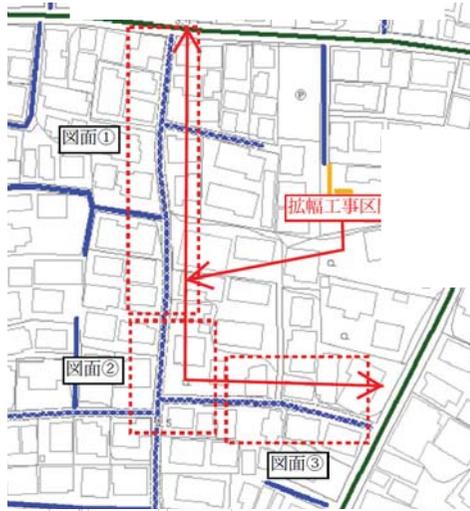


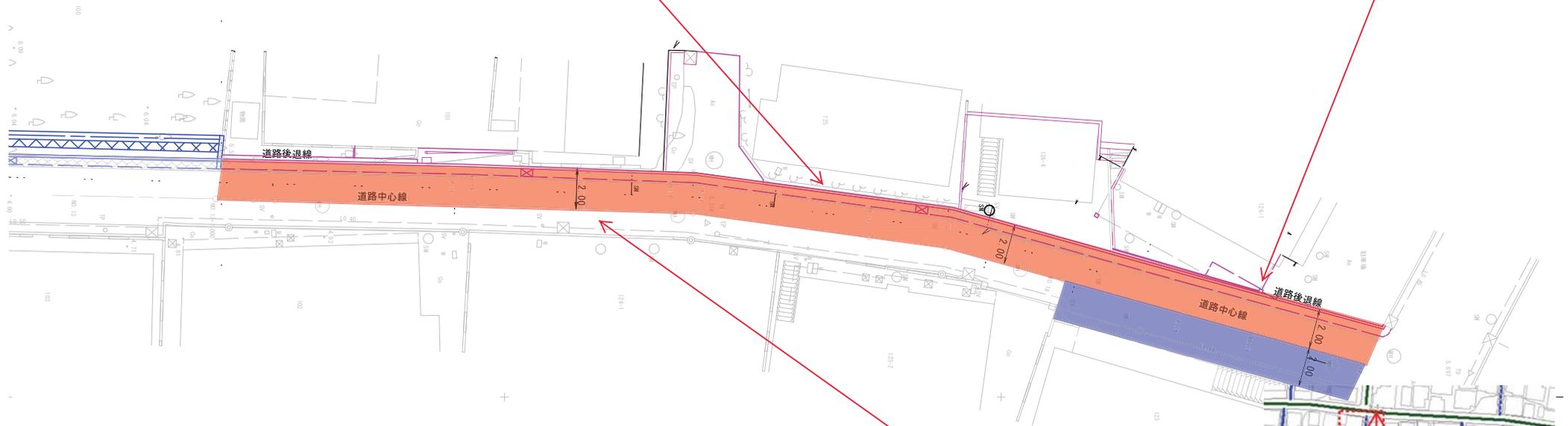
■ 平成25年度整備  
■ 後退済



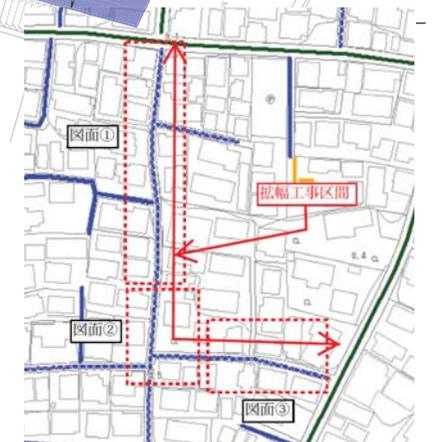
①金沢南部地区

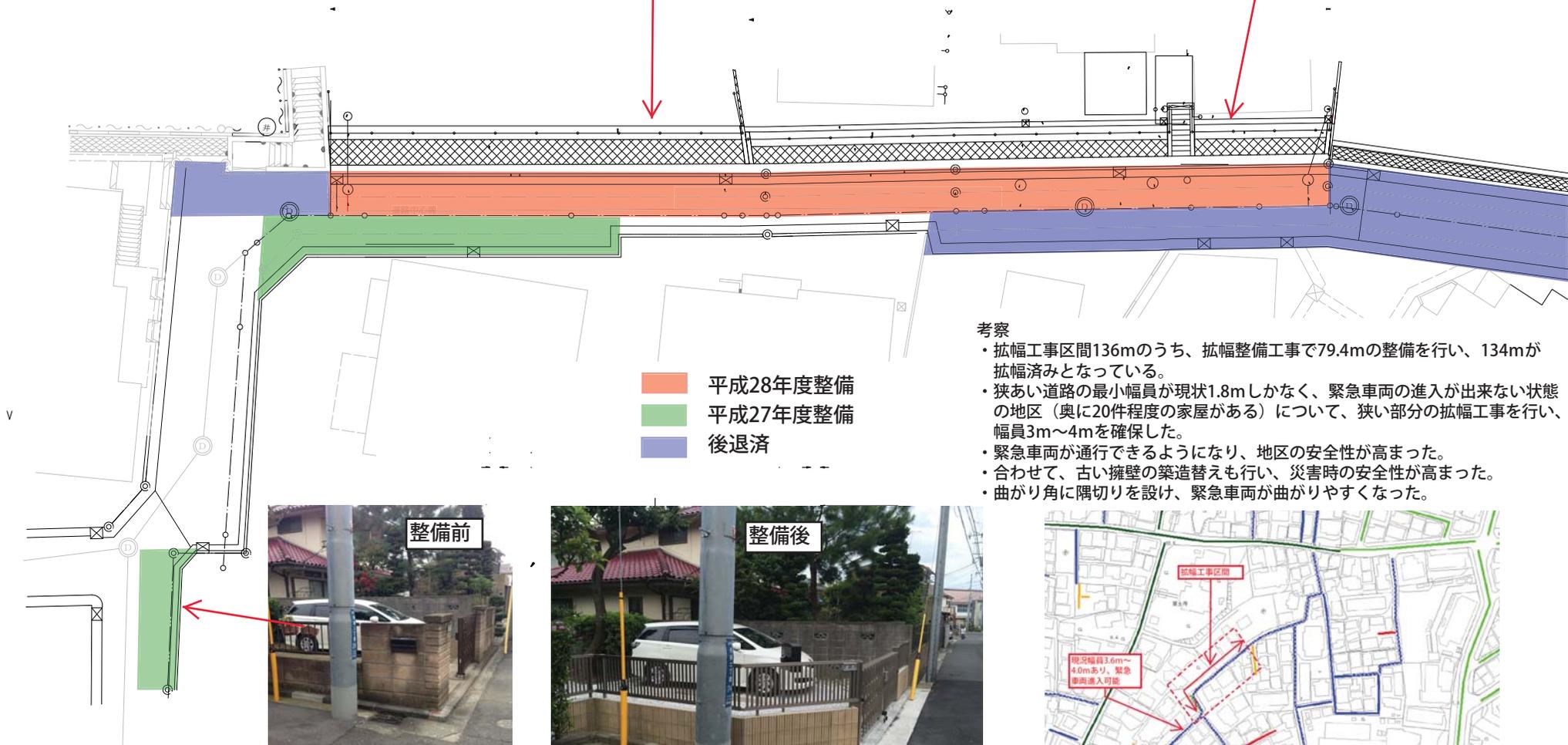
平面図(2) 狭あい道路拡幅整備②





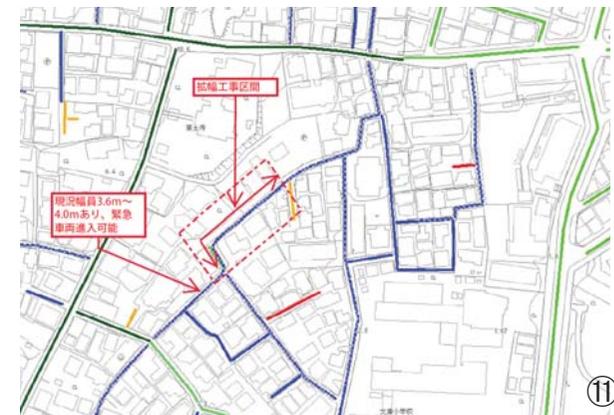
平成25年度整備  
整備済





考察

- 拡幅工事区間136mのうち、拡幅整備工事で79.4mの整備を行い、134mが拡幅済みとなっている。
- 狭あい道路の最小幅員が現状1.8mしかなく、緊急車両の進入が出来ない状態の地区（奥に20件程度の家屋がある）について、狭い部分の拡幅工事を行い、幅員3m~4mを確保した。
- 緊急車両が通行できるようになり、地区の安全性が高まった。
- 合わせて、古い擁壁の築造替えも行い、災害時の安全性が高まった。
- 曲がり角に隅切りを設け、緊急車両が曲がりやすくなった。





## 1. 地区概要

### (1) 地区の状況

当地区は、横浜市金沢区の南東部、京浜急行金沢八景駅の東側に位置し、東側は海の公園や東京湾、南側は平潟湾や野島に面する自然環境に恵まれた地区である。

当地区は、低層の戸建て住宅を主体とした市街地である。古い歴史を有することから寺社なども多く、落ち着きのあるたたずまいが感じられるが、地区の中央部を中心としたエリアでは、無秩序に市街化が進んだことで古い木造住宅が密集している。

道路については、金沢歴史の道と地区の外周を通る金沢海岸通りが骨格を形成しているほか、その内側にも幅員5m以上の道路が複数あり、地区内の交通を処理している。

一方、幅員4m未満の狭い道路や長い行き止まりも多く、歩行者の安全性や災害時避難等の面で問題となっている。

公園については、海の公園、野島公園といった大規模公園が隣接している。地区内の公園は南側に集中しており、他の場所には公園が無いが、地区外の比較的近い位置に公園が多く、地区の周辺部に住む人はそれらの公園を利用することができる。

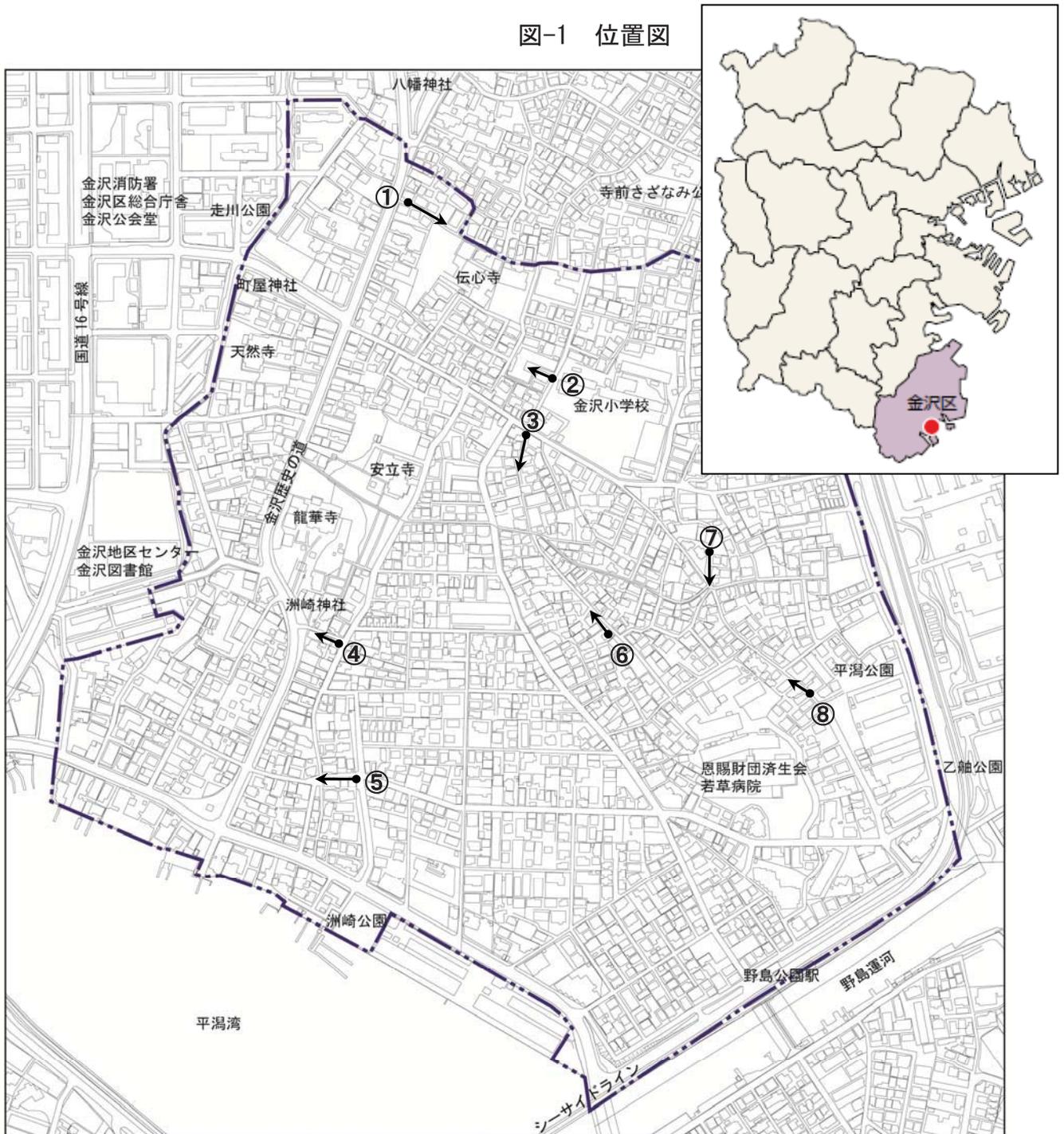
### (2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

## 2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

図-1 位置図



凡例

重点整備地区

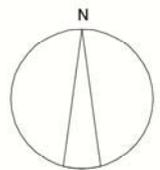
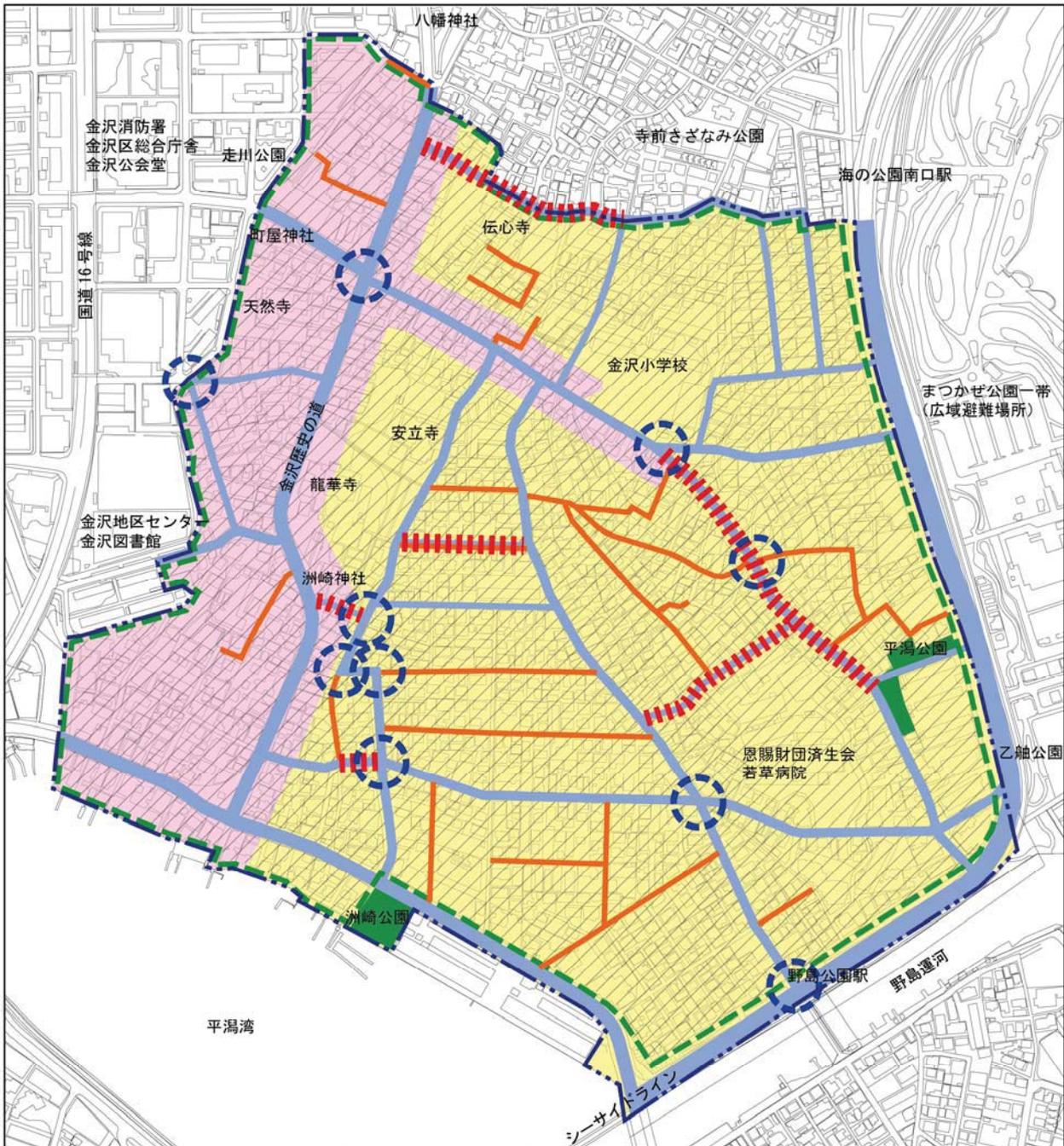


図-2 区域図



- 凡 例**
- 重点整備地区
  - 住商共存ゾーン
  - 住宅地ゾーン
  - 主要な道路
  - 狭あい道路整備促進路線
  - 重点整備路線
  - 交差点の改良
  - 公園
  - 公園・広場等整備検討区域
  - 不燃化・耐震化を進める区域  
行き止まりの解消を図る区域

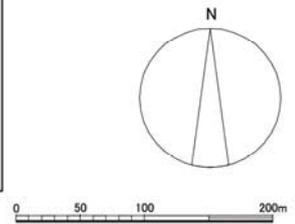


図-3 整備計画図

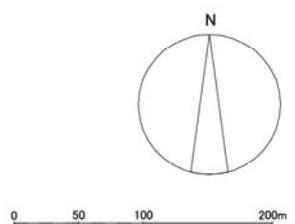
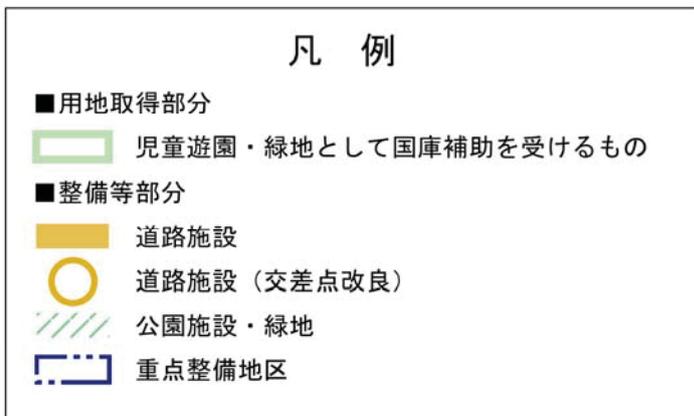
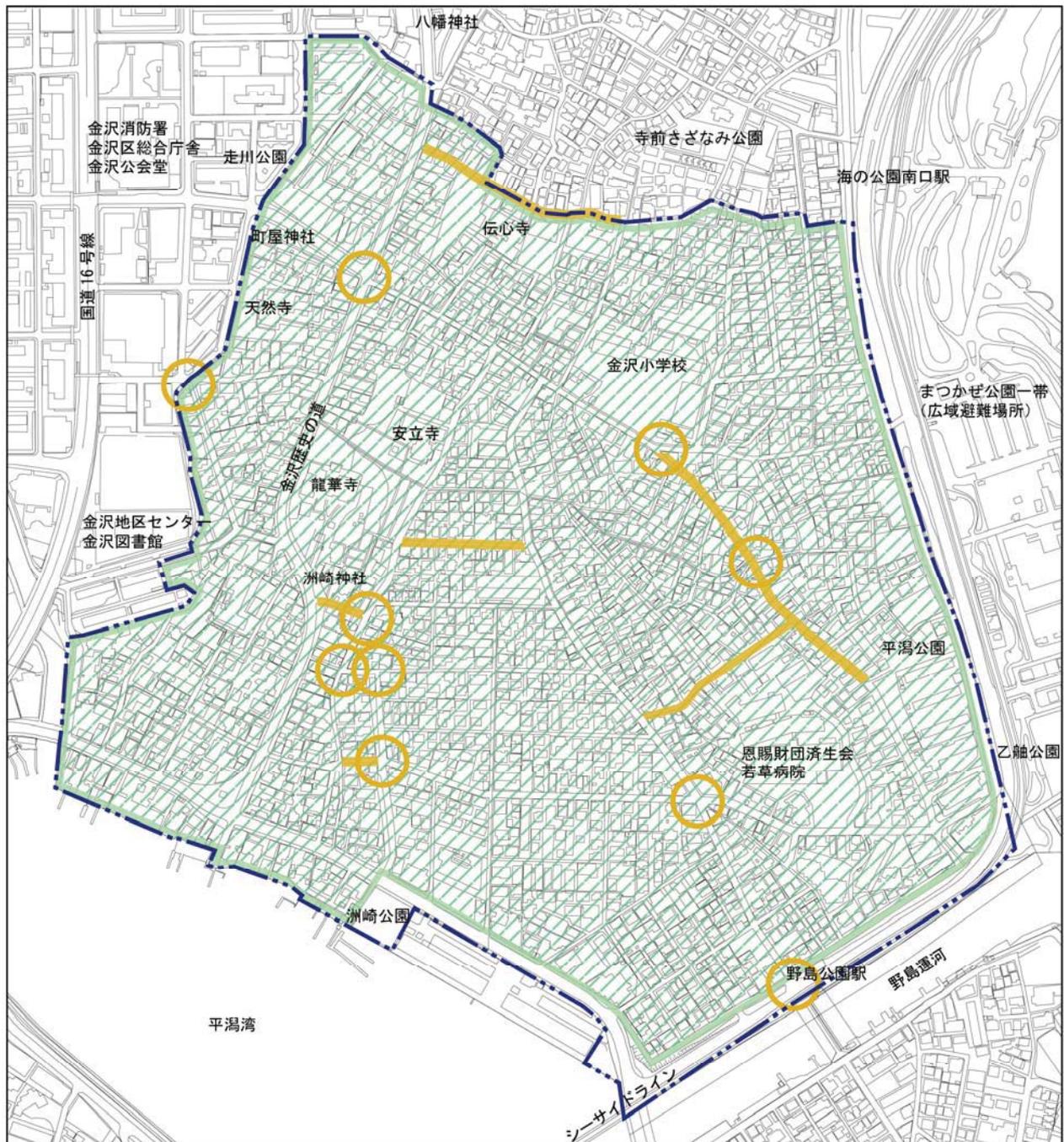


図-4 事業計画概要図

### 3. 協議会の活動状況

#### (1) 地元諸元

協議会名	金沢地区防災まちづくり協議会
協議会エリア面積	52.7ha

#### (2) 地元諸元

平成 24 年 5 月	第 1 回勉強会の開催
平成 25 年 9 月	「金沢地区防災まちづくり協議会」設立総会開催
平成 27 年 1 月	臨時総会にて防災まちづくり計画を承認
平成 27 年 4 月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定



臨時総会



まちあるき

## 4. 事業の執行状況

### (1) 計画に対する事業の進捗状況

狭あい道路の拡幅整備や防災広場整備、防火水槽の設置に向け測量、設計等を実施している。

